
第4期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定のためのアンケート調査
(団体・事業所アンケート)

調査報告書

令和7年3月

今治市 健康福祉部 福祉政策課

目 次

I	調査概要	1
II	調査結果の概要	2
III	団体・事業者アンケート分析結果	4
	問1 団体区分	4
	問2 活動分野	6
	問2-1 支援・サービスの質	9
	問2-2 支援・サービスの質の向上に必要な取組	11
	問3 地域住民との交流	13
	問4 地域行事への参加	15
	問5 地域活動への参加の奨励	17
	問6 地域課題・ニーズの把握	19
	問7 地域福祉の役割	21
	問8 他団体等との交流や協力	24
	問9 地域福祉活動計画の認知度	34
	問10 今治市が取組む施策	36
	問11 地域福祉活動活性化の取組	39
	問12 自由意見	44

I 調査概要

I 調査概要

- ・調査名：第4期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査
- ・目的：第4期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の基礎資料とするため、「日常生活での課題」、「地域での助け合い」、「福祉サービス」等の観点から、団体・事業所に向けてニーズ調査を行いました。
- ・調査期間：令和6年12月6日～令和7年1月6日
- ・調査対象者：団体・事業所アンケート 市内の福祉関連団体及び事業所
- ・標本数：団体・事業所アンケート 300団体
- ・配布方法：郵送配布回収及びWEB回答併用

調査対象者	調査対象者数 (標本数)	回収数	有効回収率
団体・事業所アンケート	300	185	61.7%
	内訳郵送回収	144	77.8%
	内訳WEB回答	41	22.2%

2 報告書の見方について

- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、クロス集計では、回答者数（n）は、無回答を除いた数となっています。
- ・グラフ及び表中に「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数です。

II 調査結果の概要

1 活動分野について

団体・事業所の活動分野は、「高齢者支援」(43.2%)、「子どもへの支援」(37.3%)、「障がい者支援」(34.1%)、「子育て支援・ひとり親世帯への支援」(30.3%)が上位回答になっています。

「高齢者支援」、「子どもへの支援」、「子育て支援・ひとり親世帯への支援」の担い手は、「民生委員・児童委員」が主な担い手になっています。「障がい者支援」は、「NPO法人」、「社会福祉法人」、「民生委員・児童委員」、「福祉サービス事業者」、「ボランティアグループ・団体」が活動の主な担い手となっています。

また、「民生委員・児童委員」は、「虐待・ひきこもり・不登校対策」分野においても活動の主な担い手となっています。(問2)

2 団体等の支援及びサービスの質について

団体等の支援及びサービスの質については、“高い”(「非常に高い」と「どちらかと言えば高い」)が全体で71.1%以上、すべての団体の回答でも50%以上となっており、自己評価は令和元年度と同じ水準を保っています。(問2-1)

サービスの質の確保・向上に必要な取組みは、研修会の実施、資格の取得等の人材育成や人材確保、組織内での職員同士の連携、外部の評価を取り入れるなどに取り組んでいます。(問2-2)

3 地域で福祉活動を推進するための取組について

団体・事業者の地域住民との交流は、全体で62.1%となっています。令和元年度調査より6.7ポイント低くなっています。団体の区分で見ると、「民生委員・児童委員」(82.6%)、「社会福祉法人」(77.5%)、が高い割合となっていますが、「医療機関」(36.4%)、「福祉サービス提供者」(41.2%)と低い状況です。(問3)

団体・事業所の地域住民の行事への参加は、64.9%参加しており、令和元年度調査とほぼ同じ傾向です。団体の区分で見ると、「民生委員・児童委員」(95.7%)、「ボランティアグループ・団体」(83.3%)が高い割合となっていますが、「医療機関」(18.2%)は低い状況です。(問4)

団体・事業者の職員へ地域活動への参加を奨励しているかは、62.2%となっており、令和元年度調査とほぼ同じ傾向です。団体の区分で見ると、「ボランティアグループ・団体」(91.7%)、「民生委員・児童委員」(91.4%)が高い割合となっていますが、「医療機関」(18.2%)は低い状況です。(問5)

団体・事業所の地域の抱えている課題やニーズの把握は、57.3%把握していますが、令和元年度調査より6.4ポイント低くなっています。団体の区分で見ると、「社会福祉法人」(74.2%)、「民生委員・児童委員」(69.6%)が高い割合となっていますが、「生活関連サービス提供者」(36.0%)は他の団体・事業所よりも低い状況です。(問6)

団体・事業所の地域福祉での役割は、「関係機関との連携・情報共有」(74.1%)、「高齢者等への見守りや声かけ」(54.1%)は高い割合ですが、「住民の相談窓口」や「地域の情報発信」は低い割合となっています。令和元年度調査とほぼ同じ傾向です。(問7)

現在の団体・事業所同士交流や協力は、「市役所」(71.4%)、「学校や教育関係の団体」(64.3%)、「市社会福祉協議会」(59.5%)、「自治会等地域団体(児童クラブ、家族会など)」(49.7%)、「民生委員・児童委員」(48.1%)などです。

今後の団体・事業所同士交流や協力は、「医療機関」(26.0%)、「ボランティアグループ・団体」(26.0%)、「生活関連サービス提供者(郵便・金融・生活用品小売業など)」(23.8%)、「NPO法人」(22.2%)、「自治会等地域団体(児童クラブ、家族会など)」(22.2%)などです。(問8①)

現在の団体・事業所同士交流や協力の内容は、主に「活動に関する情報交換」(61.6%)、「活動や事業の日常的な交流・協力」(60.0%)となっています。

今後の団体・事業所同士交流や協力したい内容は、「研修や学習活動を共同で実施」と「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」の割合がそれぞれ22.2%となっています。(問8②)

今治市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」の認知度は、63.3%となっています。令和元年度調査とほぼ同じ傾向です。(問9)

今治市の施策の中で優先して充実させることは、「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」(67.6%)、「活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援」(47.6%)が挙げられています。(問10)

今後、地域での福祉活動を活性化させるための取組は、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」(33.5%)、「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」(25.4%)、「地域で活動されている人たちの連携づくり」(24.9%)などが挙げられています。(問11)

市民アンケート結果でも日頃の近所付き合いは、「ごくたまにあいさつを交わす程度」ですので、普段から近所での付き合いを強める取組みが重要となります。

Ⅲ 団体・事業所アンケート分析結果

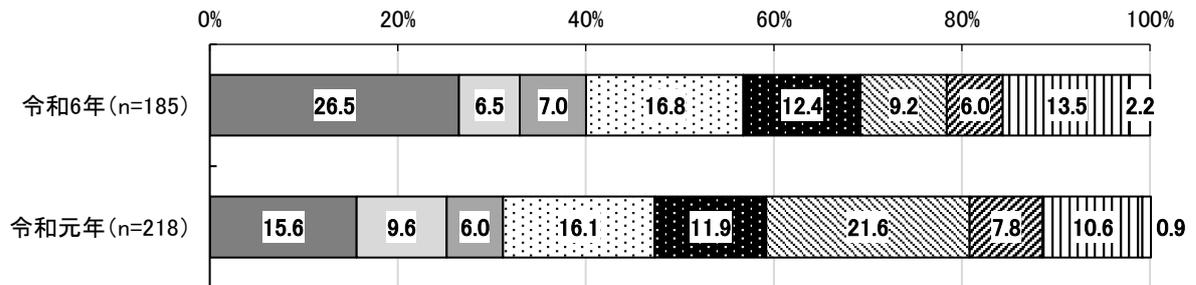
団体の概要について

問Ⅰ 貴団体の区分（形態）は次のうちどれですか。

	(件)
1 自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）	49
2 ボランティアグループ・団体	12
3 NPO法人	13
4 社会福祉法人	31
5 民生委員・児童委員	23
6 福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）	17
7 医療機関	11
8 生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）	25
無回答	4

団体の区分（形態）について聞いたところ、「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」の割合が26.5%、「ボランティアグループ・団体」が6.5%、「NPO法人」が7.0%、「社会福祉法人」が16.8%、「民生委員・児童委員」が12.4%、「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」が9.2%、「医療機関」が6.0%、「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」が13.5%となっています。

前回調査と比較すると、「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」が10.9ポイント高くなっています。



- 自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）
- ボランティアグループ・団体
- NPO法人
- 社会福祉法人（令和元年度はその他）
- 民生委員・児童委員
- 福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）
- 医療機関
- 生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）
- 無回答

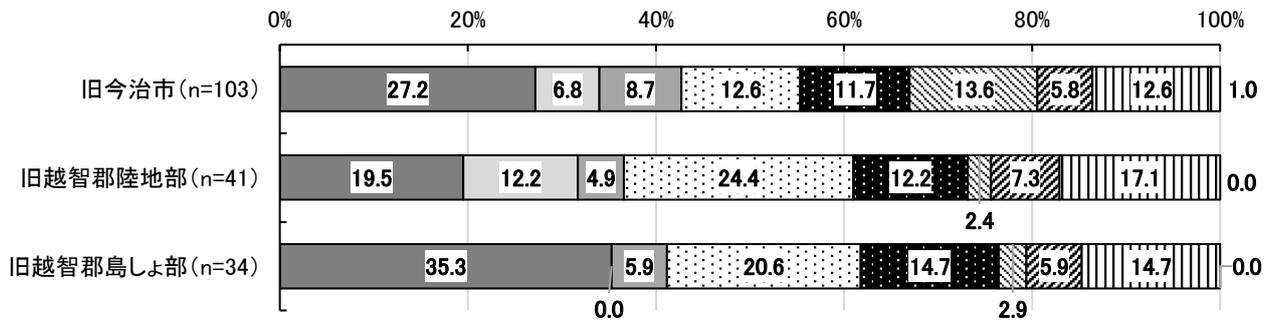
※ 「社会福祉法人」は令和6年度より新設、令和元年度調査では「福祉サービス提供者」に含まれた。令和元年度調査では「その他」の選択肢が存在した。

【地区】

地区別にみると、旧今治市では、「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」（13.6%）、「社会福祉法人」と「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」（それぞれ 12.6%）となっています。

旧越智郡陸地部では、「社会福祉法人」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」（19.5%）、「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」（17.1%）となっています。

旧越智郡島しょ部では、「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「社会福祉法人」（20.6%）、「民生委員・児童委員」と「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」（それぞれ 14.7%）となっています。

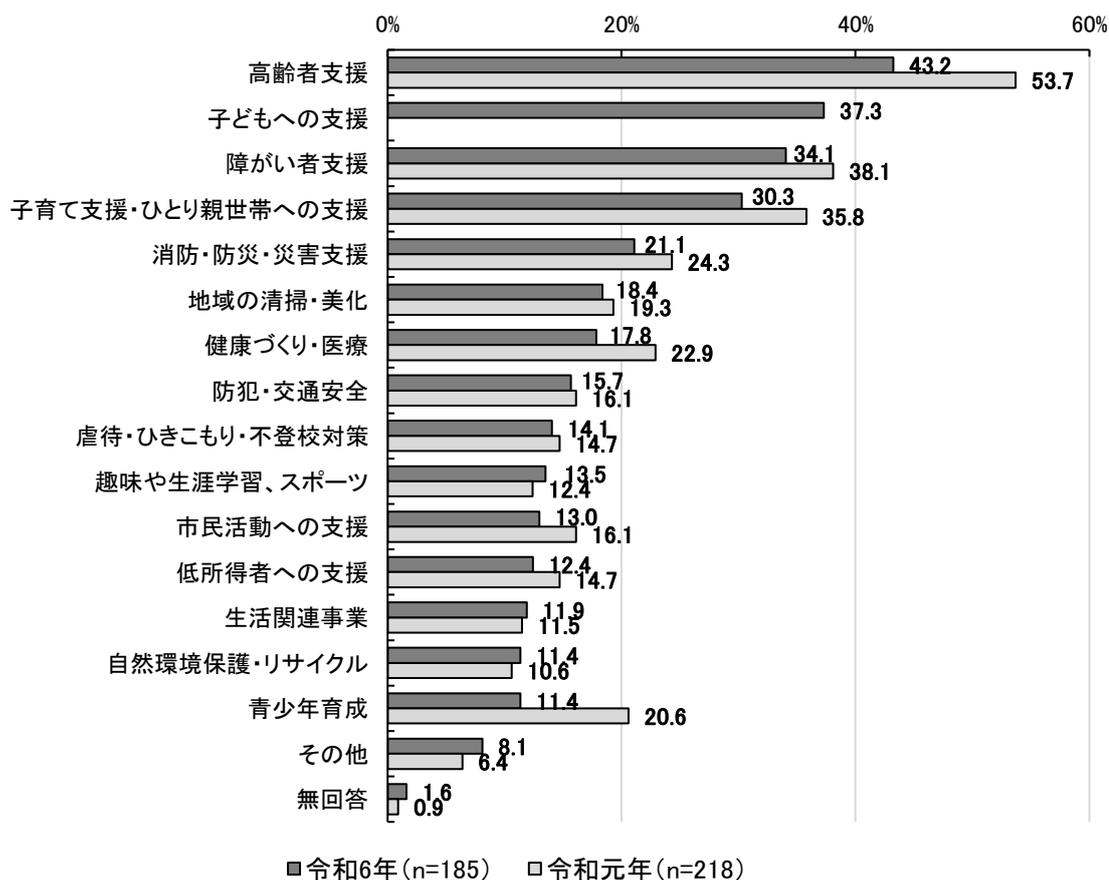


- 自治会等地域団体(児童クラブ、家族会など)
- ボランティアグループ・団体
- NPO法人
- 社会福祉法人
- 民生委員・児童委員
- ▨福祉サービス提供者(社会福祉法人を除く)
- ▨医療機関
- 生活関連サービス提供者(郵便・金融・生活用品小売業など)
- 無回答

問2 活動分野は次のうちどれですか。

		〈複数回答〉(件)
1	高齢者支援	80
2	障がい者支援	63
3	子育て支援・ひとり親世帯への支援	56
4	子どもへの支援	69
5	健康づくり・医療	33
6	虐待・ひきこもり・不登校対策	26
7	低所得者への支援	23
8	地域の清掃・美化	34
9	消防・防災・災害支援	39
10	防犯・交通安全	29
11	自然環境保護・リサイクル	21
12	趣味や生涯学習、スポーツ	25
13	青少年育成	21
14	市民活動への支援	24
15	生活関連事業	22
16	その他	15
	無回答	3

活動分野についてみると、「高齢者支援」の割合が43.2%と最も大きく、次いで「子どもへの支援」(37.3%)、「障がい者支援」(34.1%)となっています。前回調査と比較すると、「高齢者支援」が10.5ポイント低く、「青少年育成」が9.2ポイント低くなっています。

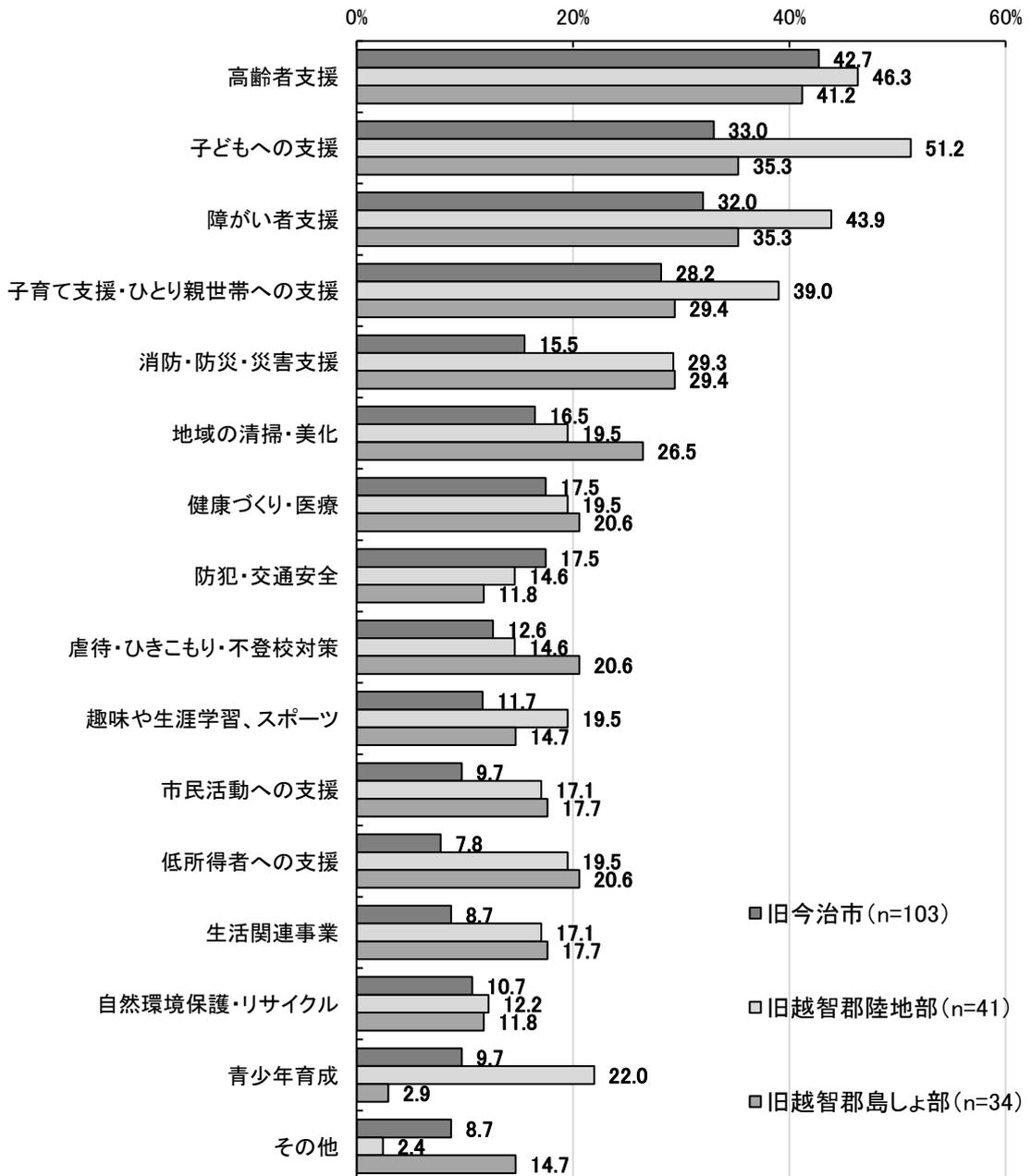


※「子どもへの支援」は令和6年度より新設。「子育て支援・ひとり親世帯への支援」は令和元年度調査では「子育て支援・母子福祉」という名称。

【地区】

地区別にみると、旧今治市では、「高齢者支援」の割合が42.7%と最も高く、次いで「子どもへの支援」(33.0%)、「障がい者支援」(32.0%)となっています。旧越智郡陸地部では、「子どもへの支援」が51.2%と最も大きく、次いで「高齢者支援」(46.3%)、「障がい者支援」(43.9%)となっています。旧越智郡島しょ部では、「高齢者支援」が41.2%と最も高く、次いで「子どもへの支援」と「障がい者支援」(それぞれ35.3%)となっています。

旧越智郡陸地部の「子どもへの支援」の割合が他と比べて15ポイント以上高く、同じく「青少年育成」の割合が他と比べて12ポイント以上高くなっています。



【団体区分】

団体区分別にみると、各活動分野について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

「自治体等地域団体」…「消防・防災・災害支援」、「地域の清掃・美化」、「防犯・交通安全」、「趣味や生涯学習、スポーツ」、「市民活動への支援」、「自然環境保護・リサイクル」

「ボランティアグループ・団体」…「青少年育成」、「その他」

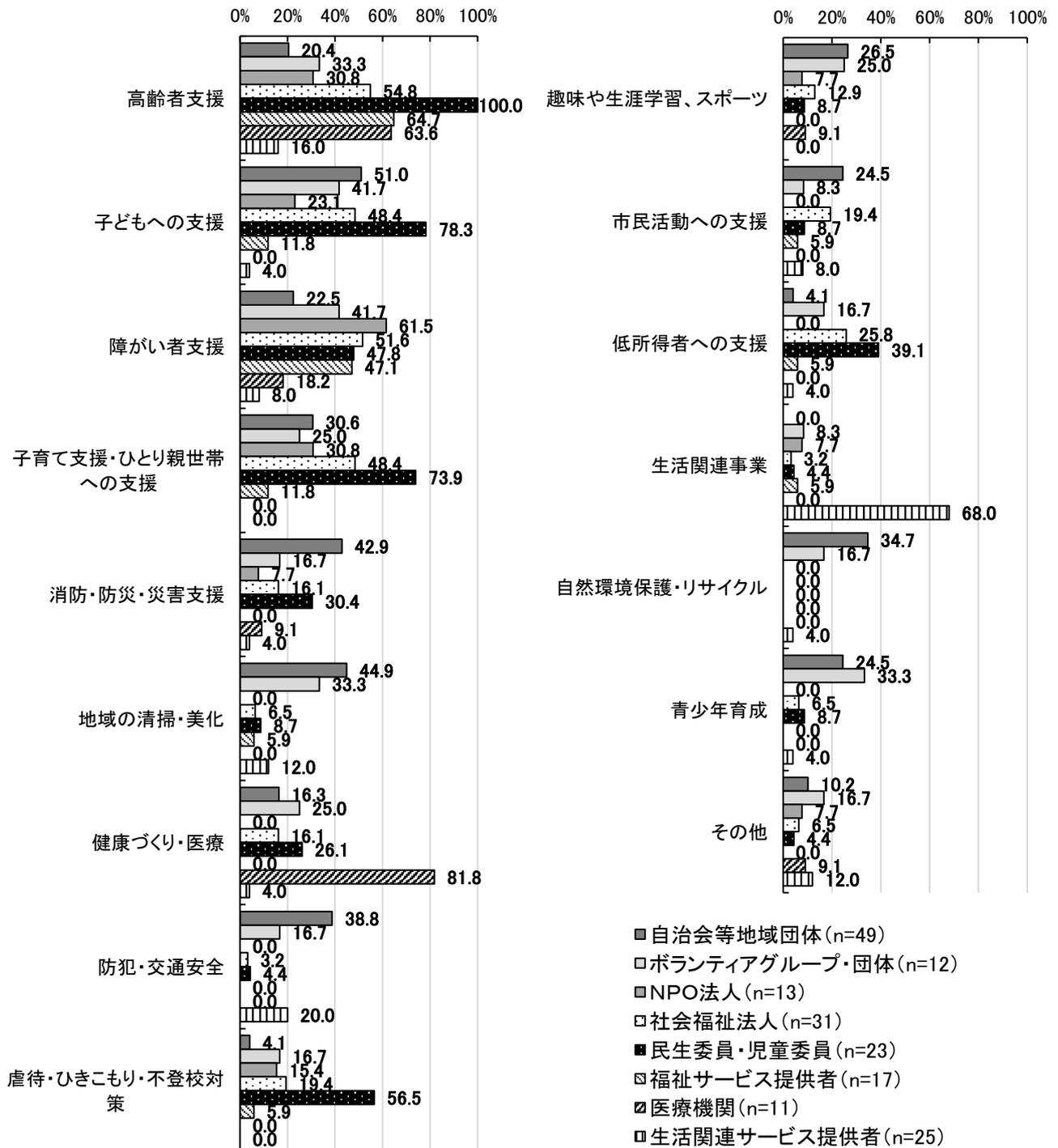
「NPO法人」…「障がい者支援」

「民生委員・児童委員」…「高齢者支援」、「子どもへの支援」、「子育て支援・ひとり親世帯への支援」、「虐待・ひきこもり・不登校対策」、「低所得者への支援」

「医療機関」…「健康づくり・医療」

「生活関連サービス提供者」…「生活関連事業」

特に「高齢者支援」、「健康づくり・医療」、「虐待・ひきこもり・不登校対策」、「生活関連事業」は二番目に高い団体区分よりも30ポイント以上高くなっています。



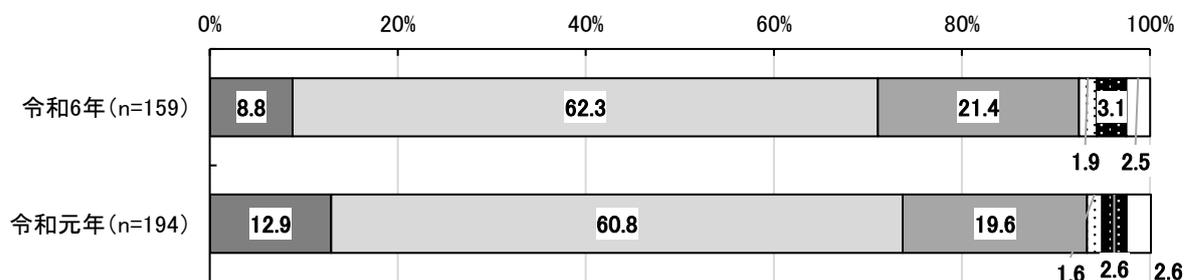
問 2-1 貴団体が現在提供している支援・サービスの質について、どのように評価しますか。

問 2 で 1 ～ 1 3 に ○ を記入した団体にお伺いします。

		(件)
1	非常に高い	14
2	どちらかと言えば高い	99
3	どちらかと言えば高くない	34
4	低い	3
5	その他	5
	無回答	4

団体が現在提供している支援・サービスの質について聞いたところ、「高い」71.1%（「非常に高い」8.8%、「どちらかと言えば高い」62.3%の合計（以下同じ））、「低い」23.3%（「どちらかと言えば高くない」21.4%、「低い」1.9%の合計（以下同じ））、「その他」3.1%となっています。

経年変化をみると、「高い」が2.6ポイント低く、「非常に高い」が4.1ポイント低くなっています。その他の選択肢は前回調査からの増減は小さく、同じ傾向といえます。

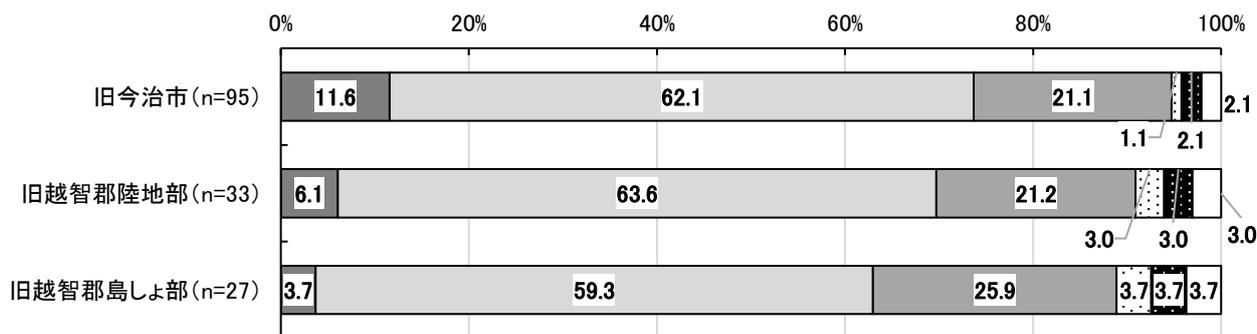


■非常に高い □どちらかと言えば高い □どちらかと言えば高くない □低い ■その他 □無回答

【地区】

地区別にみると、旧今治市では、「高い」73.7%、「低い」22.2%となっており、「高い」が51.5ポイント高くなっています。旧越智郡陸地部では、「高い」69.7%、「低い」24.2%となっており、「高い」が45.5ポイント高くなっています。旧越智郡島しょ部では、「高い」63.0%、「低い」29.6%となっており、「高い」が33.4ポイント高くなっています。

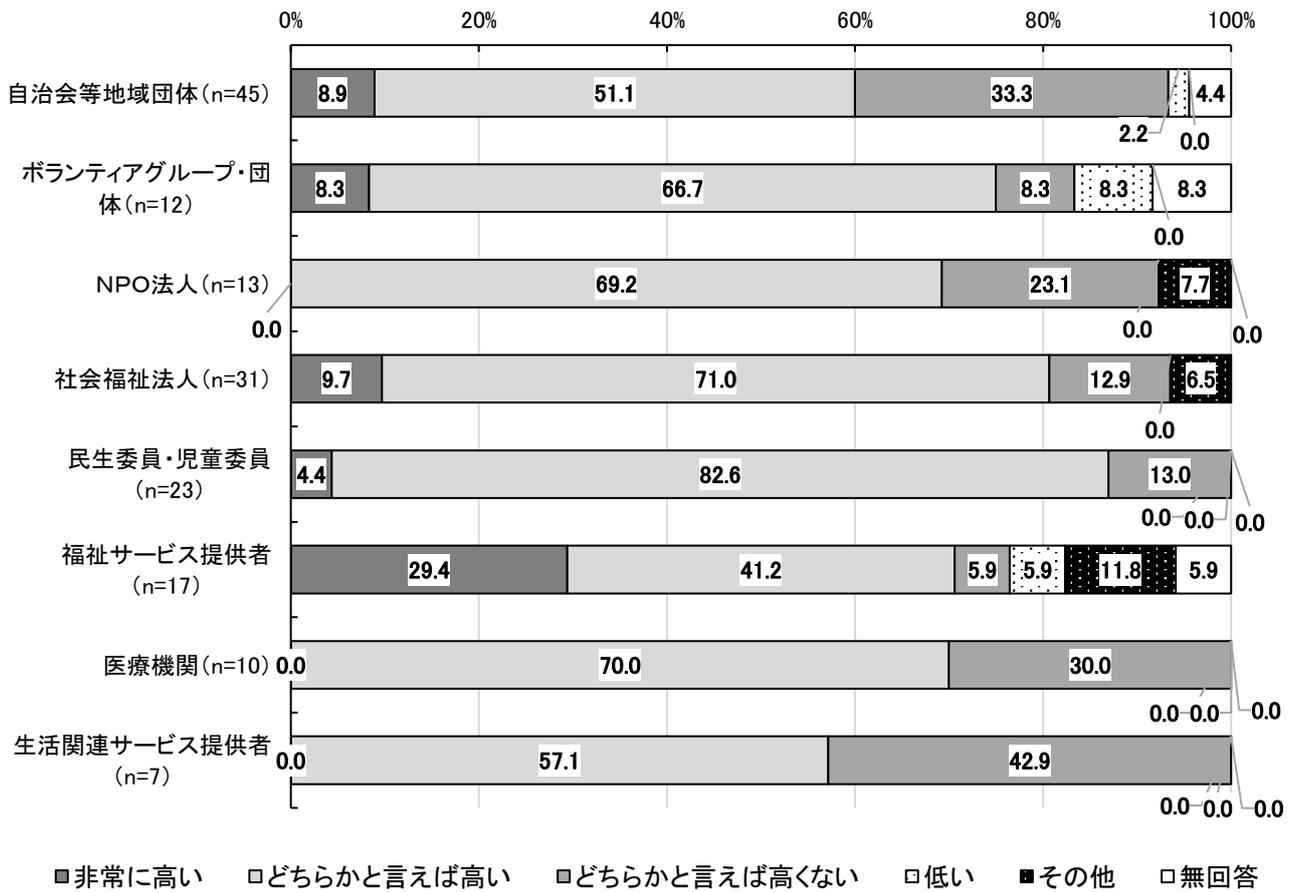
旧今治市の「高い」(73.7%)が他の地区と比べて最も高く、旧越智郡島しょ部よりも10.7ポイント高くなっています。



■非常に高い □どちらかと言えば高い □どちらかと言えば高くない □低い ■その他 □無回答

【団体区分】

団体区分別にみると、全ての団体で“高い”の割合が50%以上となっています。“高い”の割合は「民生委員・児童委員」(87.0%)が最も高く、「非常に高い」の割合は「福祉サービス提供者」(29.4%)が最も高くなっています。



問 2-2 サービスの質を確保・向上するために必要な取組をお聞かせください。

(主な意見)

○人材育成・確保に関すること

- ・組織内で職員やスタッフへの研修を実施している
- ・外部の研修に参加している
- ・技術の向上
- ・資格の取得
- ・施設長もスタッフとしてサービスに係り、その都度職員に指導する
- ・人材確保
- ・若い人の入会、組織の若返り
- ・質の向上のための学び（自らの専門知識の修得、研修での学び、政府の方向性を知る）
- ・キャリアパスの整備

○取り組み姿勢に関すること

- ・失敗を恐れず、経験させること
- ・トップのリーダーシップ
- ・日々すべきことのチェックと迅速な対応
- ・利他の心

○運営方針に関すること

- ・サービス向上のための計画の検討、実行、振り返り、修正を通してガイドラインを確立する
- ・従業員のモチベーション維持・UPのための処遇向上
- ・事業継続計画書の作成
- ・支部運営委員会の設置
- ・外部の目を入れ、意見を反映する
- ・経営理念を明文化し、研修会などで周知・説明する
- ・利用者アンケートによる満足度の把握
- ・ニーズを聞き取り、ニーズに合った支援を行う
- ・専門部会を設け、市や関係機関との連携や部会ごとの研修を行う

○組織内での連携に関すること

- ・研修や職員会など、考えたり話し合う機会を確保する
- ・定期的な職員会による情報共有
- ・全員参加の会議を毎週行い、問題点の改善等に努める
- ・職員同士の報連相の徹底
- ・職員同士が話しやすい環境づくり、風通しの良い職場
- ・支援員の横のつながり（連携）を密に
- ・活動に自分たちの趣味活動を取り入れ、楽しんでやれる仲間づくりを心がける
- ・サービスのあるべき姿を職員間で共有

○組織外とのコミュニケーション・連携に関すること

- ・地域住民や地域の企業との連携を強化
- ・行政との連携
- ・他機関との情報交換、連携
- ・月例会に市社協や包括支援センターの職員も出席し、情報や意見交換の場とする
- ・対象者も巻き込んでのイベント活動で意見を聞く
- ・保護者向けの説明会の実施

○具体的な活動

- ・保育園の無償化、小児医療の充実、産婦人科の増設
- ・子どもの通学支援
- ・ろう者が必要とする情報の提供
- ・地域の高齢者や障がい者への病気予防・医療提供
- ・子育て親子が気軽に集える場づくり
- ・高齢者や子どもの見守り活動
- ・防災訓練などの防災活動
- ・美化活動
- ・利用者の特性や能力に応じた作業内容の自己選択

○要望

- ・継続的な支援が必要
- ・傾聴ボランティア入門講座・スキルアップ講座を開催してほしい
- ・自治体の協力が必要
- ・情報公開をしてほしい

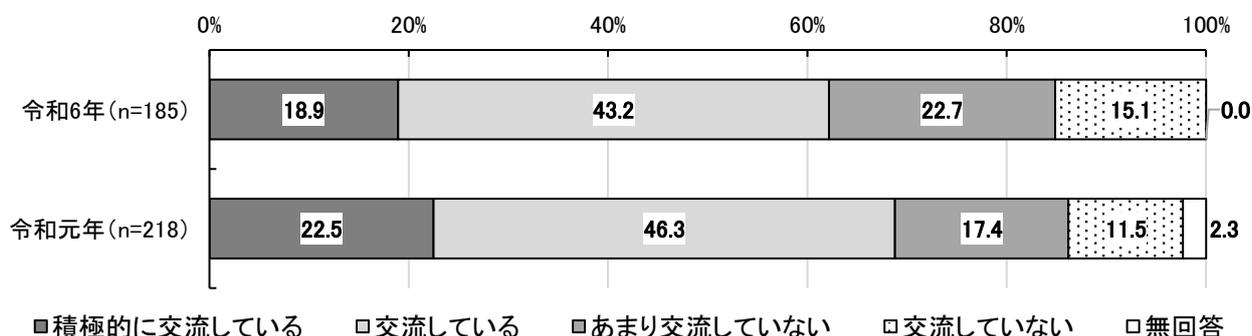
地域での福祉活動を推進させるための取組について

問3 地域住民が参加できるイベントを開催するなど、地域住民との交流を図っていますか。

		(件)
1	積極的に交流している	35
2	交流している	80
3	あまり交流していない	42
4	交流していない	28
	無回答	0

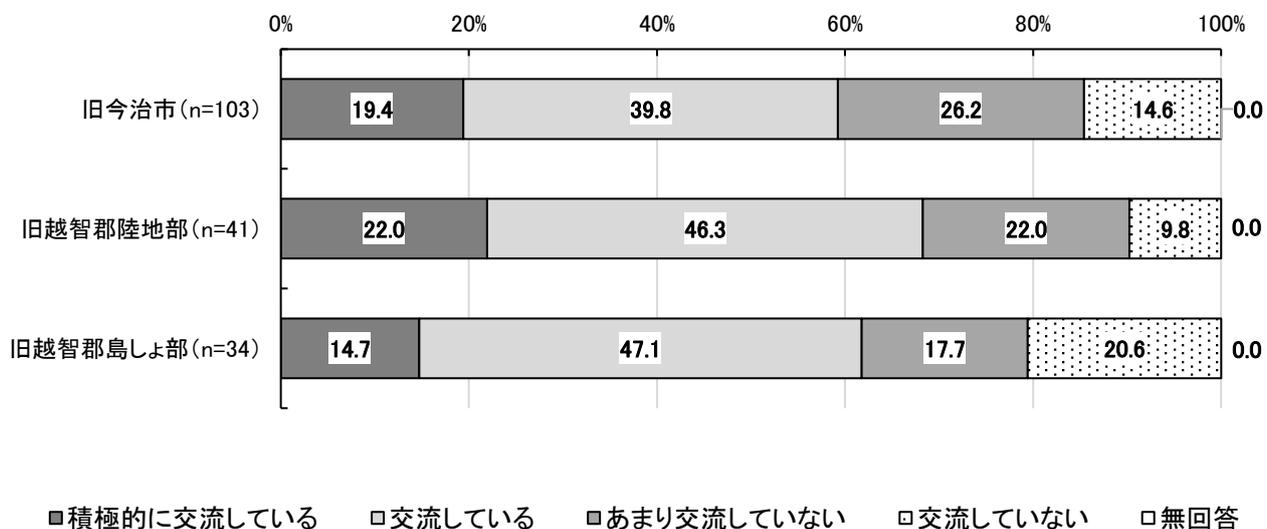
地域住民との交流について聞くと、“地域住民と交流している”62.1%（積極的に交流している」18.9%、「交流している」43.2%の合計（以下同じ）），“地域住民と交流していない”37.8%（「あまり交流していない」22.7%、「交流していない」15.1%の合計（以下同じ））となっています。

前回調査と比較すると、“地域住民と交流している”が6.7ポイント低くなっており、“地域住民と交流していない”が8.9ポイント高くなっています。



【地区】

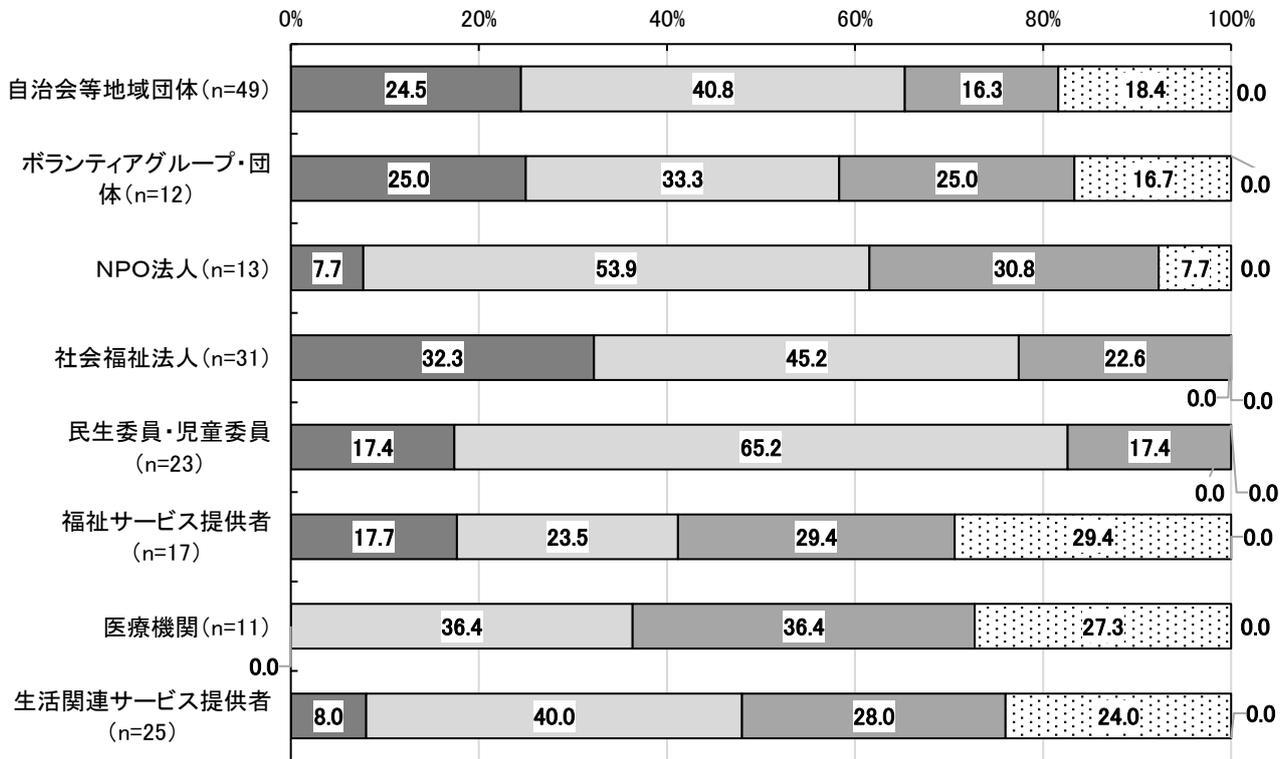
地区別にみると、全ての地区で“地域住民と交流している”の割合が50%以上となっています。旧越智郡陸地部（68.3%）が最も高く、旧今治市より9.1ポイント高くなっています。



【団体区分】

団体区分別にみると、「自治会等地域団体」、「ボランティアグループ・団体」、「NPO 法人」、「社会福祉法人」、「民生委員・児童委員」は“地域住民と交流している”の割合が50%以上となっています。“地域住民と交流している”の割合は「民生委員・児童委員」(82.6%)が最も高く、「積極的に交流している」の割合は「社会福祉法人」(32.3%)が最も高いです。

一方、「福祉サービス提供者」、「医療機関」、「生活関連サービス提供者」は“地域住民と交流していない”の割合が50%以上となっています。“地域住民と交流していない”の割合は「医療機関」(63.7%)が最も高く、「交流していない」の割合は「福祉サービス提供者」が最も高くなっています。



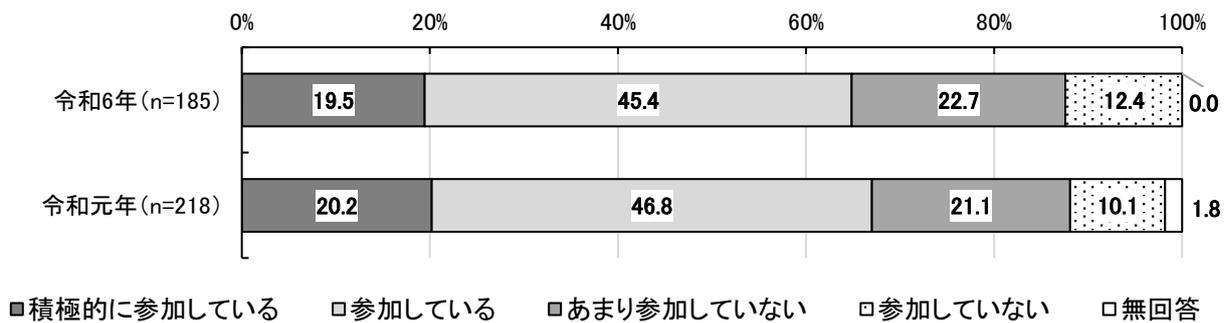
積極的に交流している
 交流している
 あまり交流していない
 交流していない
 無回答

問4 団体（事業所）として地域住民の行事や集まりに参加していますか。

		(件)
1	積極的に参加している	36
2	参加している	84
3	あまり参加していない	42
4	参加していない	23
	無回答	0

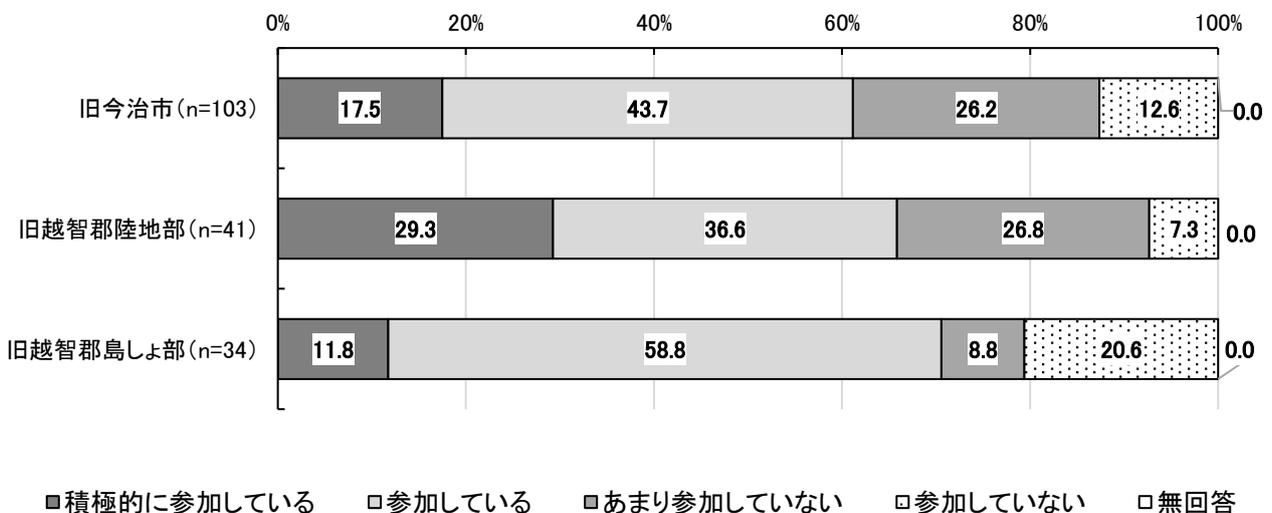
地域住民の行事や集まりへの参加についてみると、“地域住民の行事や集まりに参加している”64.9%（「積極的に参加している」19.5%、「参加している」45.4%の合計（以下同じ）），“地域住民の行事や集まりに参加していない”35.1%（「あまり参加していない」22.7%、「参加していない」12.4%の合計（以下同じ））となっており、“地域住民の行事や集まりに参加している”が“地域住民の行事や集まりに参加していない”より29.8ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、“地域住民の行事や集まりに参加している”が2.1ポイント低く、“地域住民の行事や集まりに参加していない”が3.9ポイント高くなっています。



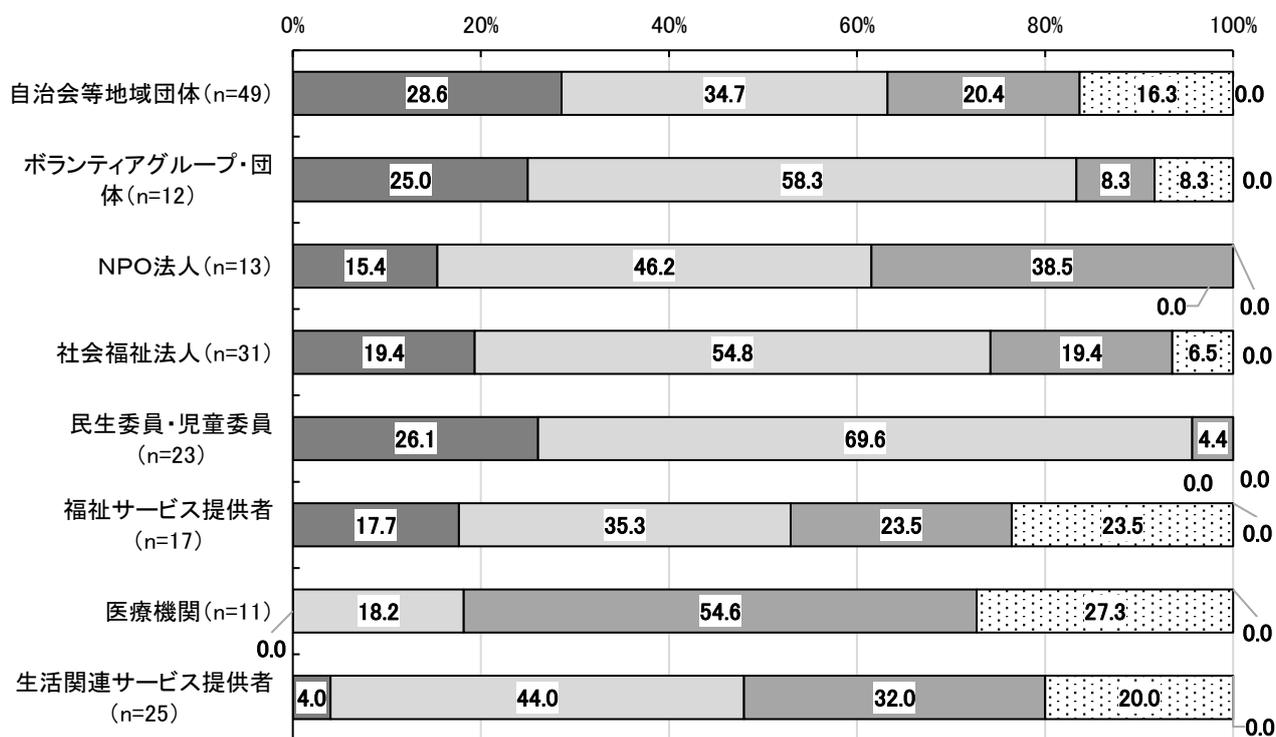
【地区】

地区別にみると、すべての地区で“地域住民の行事や集まりに参加している”の割合が60%以上となっています。“地域住民の行事や集まりに参加している”の割合は旧越智郡島しょ部（70.6%）が最も高く、「積極的に参加している」は旧越智郡陸地部（29.3%）が最も高くなっています。



【団体区分】

団体区分別にみると、「医療機関」と「生活関連サービス提供者」を除いて、全ての団体が“地域住民の行事や集まりに参加している”の割合が50%以上となっています。“地域住民の行事や集まりに参加している”の割合は「民生委員・児童委員」(95.7%)が最も高く、「積極的に参加している」は自治会等地域団体(28.6%)が最も高くなっています。



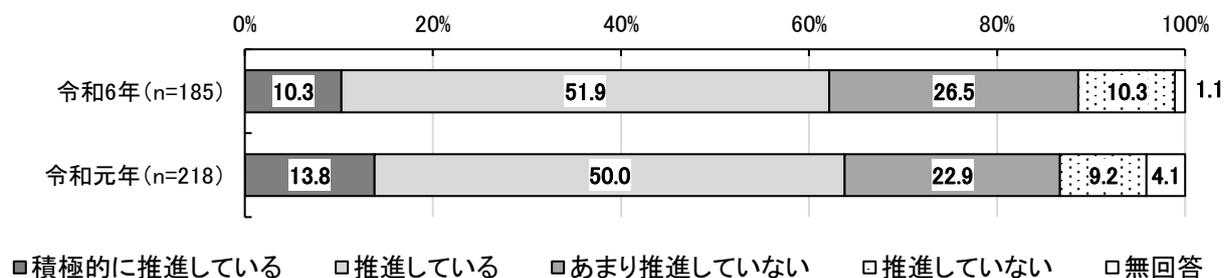
積極的に参加している
 参加している
 あまり参加していない
 参加していない
 無回答

問5 団体（事業所）として職員に対して地域活動（ボランティア活動）への参加を奨励していますか。

		(件)
1	積極的に推進している	19
2	推進している	96
3	あまり推進していない	49
4	推進していない	19
	無回答	2

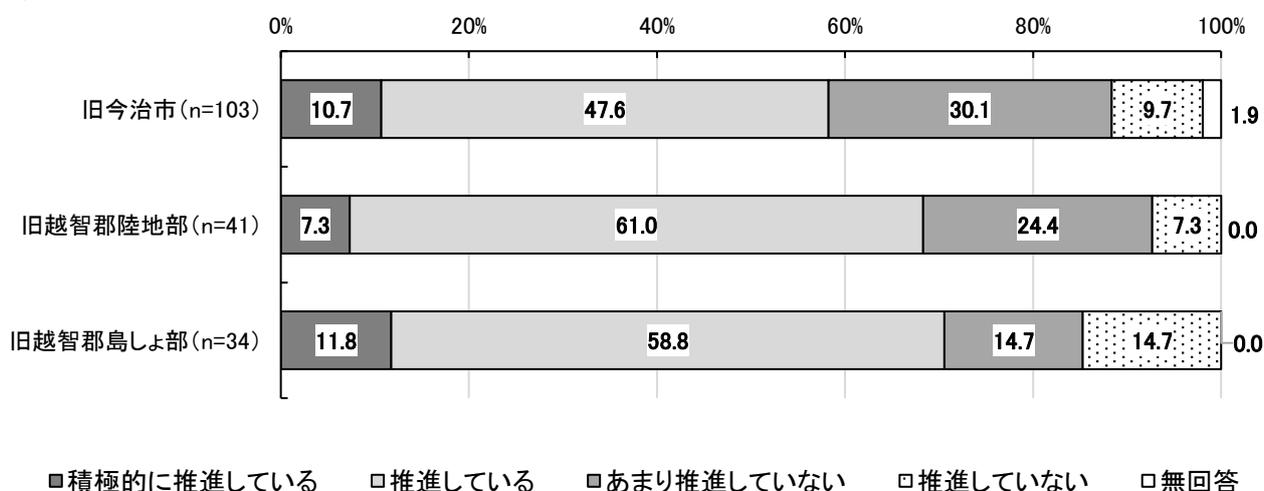
職員に対して地域活動（ボランティア活動）への参加の奨励について聞くと、“参加を推進している”62.2%（「積極的に推進している」10.3%、「推進している」51.9%の合計（以下同じ）），“参加を推進していない”36.8%（「あまり推進していない」26.5%、「推進していない」10.3%の合計（以下同じ））となっており、“参加を推進している”が“参加を推進していない”よりも25.4ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、“参加を推進している”が1.6ポイント低く、“参加を推進していない”が4.7ポイント高くなっています。



【地区】

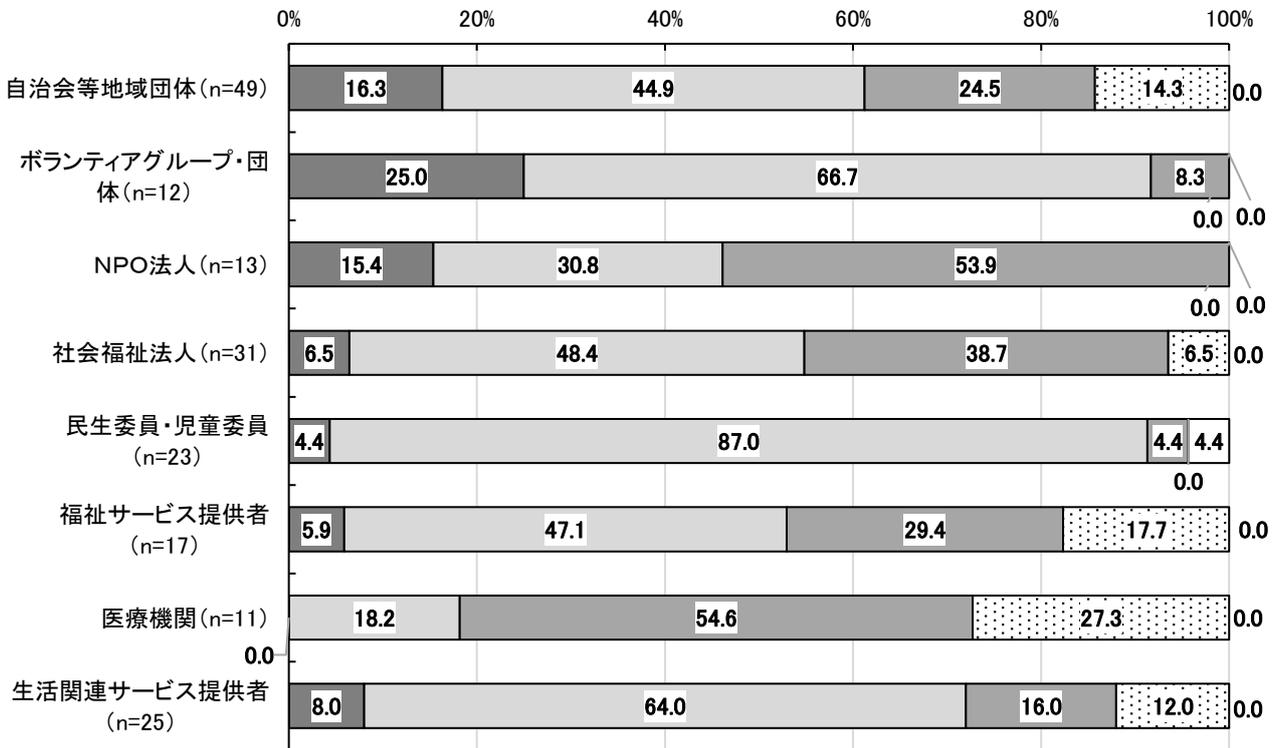
地区別にみると、全地区で“参加を推進している”の割合が50%以上となっています。“参加を推進している”の割合は旧越智郡島しょ部(70.6%)が最も高く、「積極的に推進している」も旧越智郡島しょ部(11.8%)が最も高くなっています。



【団体区分】

団体区別にみると、「NPO 法人」と「医療機関」を除く全ての団体で“参加を推進している”の割合が50%以上となっています。“参加を推進している”の割合は「ボランティアグループ・団体」(91.7%)が最も高く、「積極的に推進している」も「ボランティアグループ・団体」(25.0%)が最も高くなっています。特に「ボランティアグループ・団体」(91.7%)と「民生委員・児童委員」(91.4%)の“参加を推進している”の割合は他の団体よりも20ポイント以上高くなっています。

一方、「NPO 法人」「医療機関」は“参加を推進していない”の割合が50%以上となっており、特に「医療機関」の“参加を推進していない”(81.9%)は他の団体よりも20ポイント以上高くなっています。



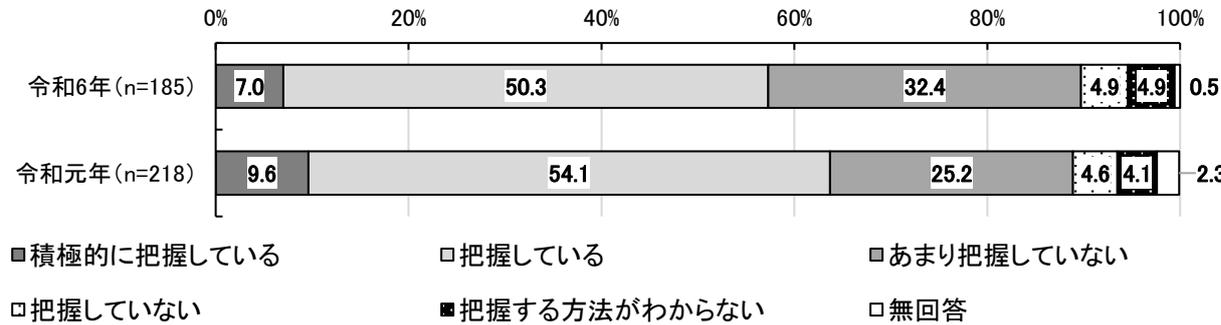
積極的に推進している
 推進している
 あまり推進していない
 推進していない
 無回答

問6 地域の抱えている課題や住民のニーズを把握していますか。

		(件)
1	積極的に把握している	13
2	把握している	93
3	あまり把握していない	60
4	把握していない	9
5	把握する方法がわからない	9
	無回答	1

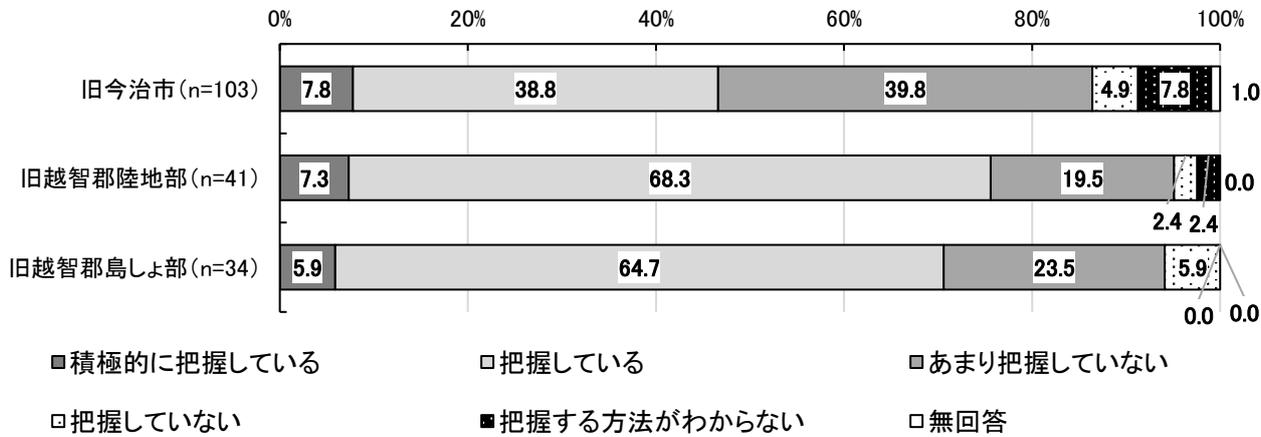
地域の抱えている課題や住民のニーズの把握について聞いてみると、“課題やニーズを把握している” 57.3%（「積極的に把握している」7.0%、「把握している」50.3%の合計（以下同じ）），“課題やニーズを把握していない” 37.3%（「あまり把握していない」32.4%、「把握していない」4.9%の合計（以下同じ）），“把握する方法がわからない”が4.9%となっています。“課題やニーズを把握している”が“課題やニーズを把握していない”よりも20.0ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、“課題やニーズを把握している”が6.4ポイント低く、“課題やニーズを把握していない”が7.5ポイント高くなっています。



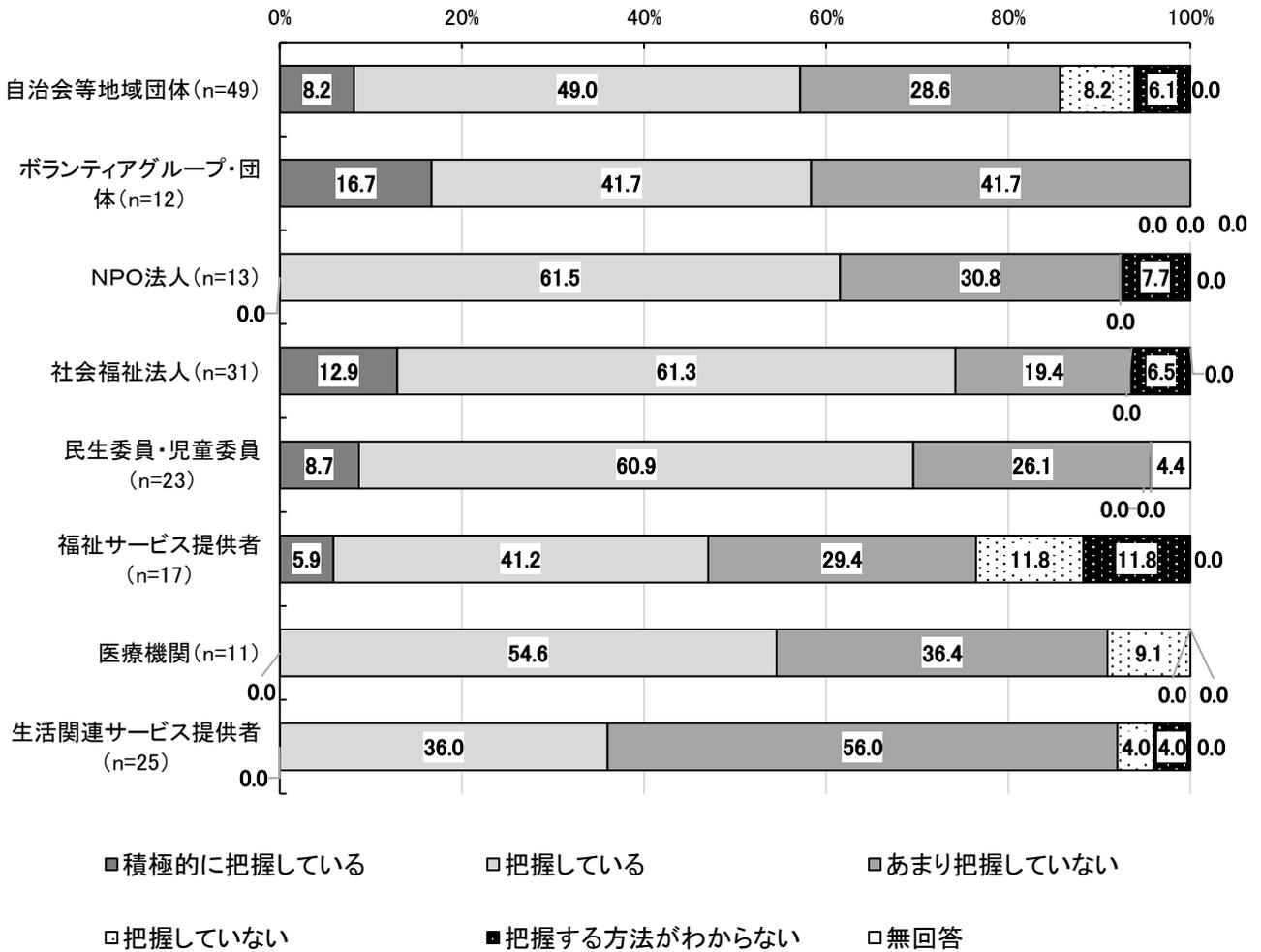
【地区】

地区別にみると、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部で“課題やニーズを把握している”の割合が70%以上となっています。一方、旧今治市の“課題やニーズを把握している”の割合は46.6%となっており、“課題やニーズを把握していない”の44.7%に近い値となっています。



【団体区分】

団体区分別にみると、「福祉サービス提供者」と「生活関連サービス提供者」を除く全ての団体で“課題やニーズを把握している”の割合は50%を超えています。“課題やニーズを把握している”の割合は「社会福祉法人」(74.2%)が最も高く、「積極的に把握している」は「ボランティアグループ・団体」(16.7%)が最も高くなっています。

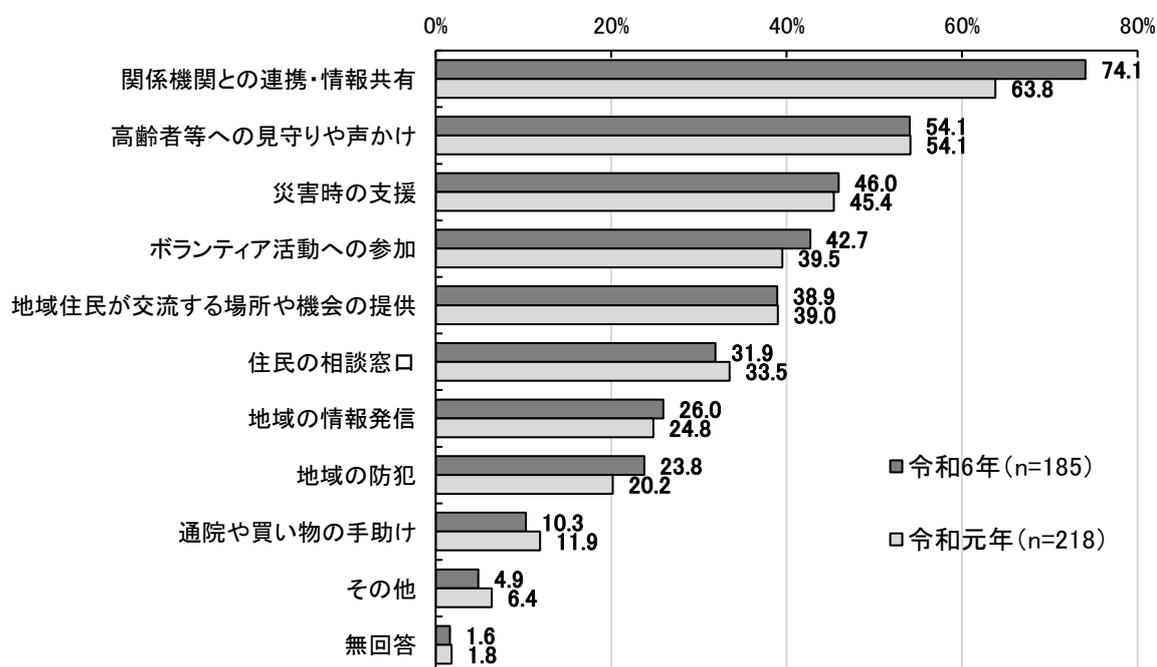


問7 貴団体は地域福祉においてどのような役割を担うことができますか。

		〈複数回答〉(件)
1	地域住民が交流する場所や機会の提供	72
2	高齢者等への見守りや声かけ	100
3	地域の防犯	44
4	住民の相談窓口	59
5	災害時の支援	85
6	通院や買い物の手助け	19
7	ボランティア活動への参加	79
8	地域の情報発信	48
9	関係機関との連携・情報共有	137
10	その他	9
	無回答	3

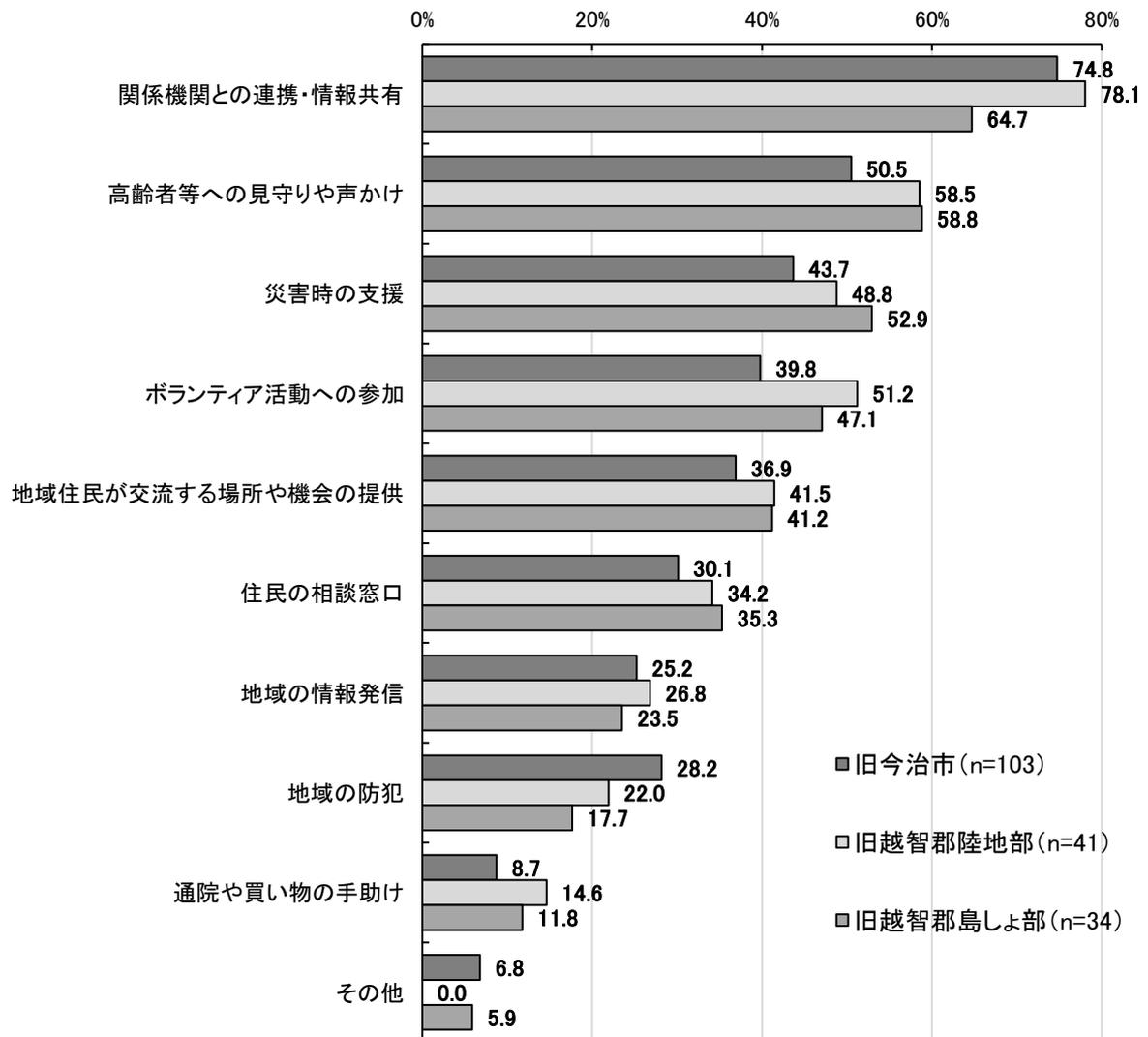
地域福祉における役割についてみると、「関係機関との連携・情報共有」の割合が74.1%と最も高く、次いで「高齢者等への見守りや声かけ」(54.1%)、「災害時の支援」(46.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「関係機関との連携・情報共有」が10.3ポイント高くなっています。その他の選択肢は前回調査からの増減は小さく、「関係機関との連携・情報共有」以外は同じ傾向といえます。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「関係機関との連携・情報共有」の割合が最も高く、次いで「高齢者等への見守りや声かけ」、「災害時の支援」が高くなっています。



【団体区分】

団体区別にみると、地域福祉における役割について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

「ボランティアグループ・団体」…「ボランティア活動への参加」、「その他」

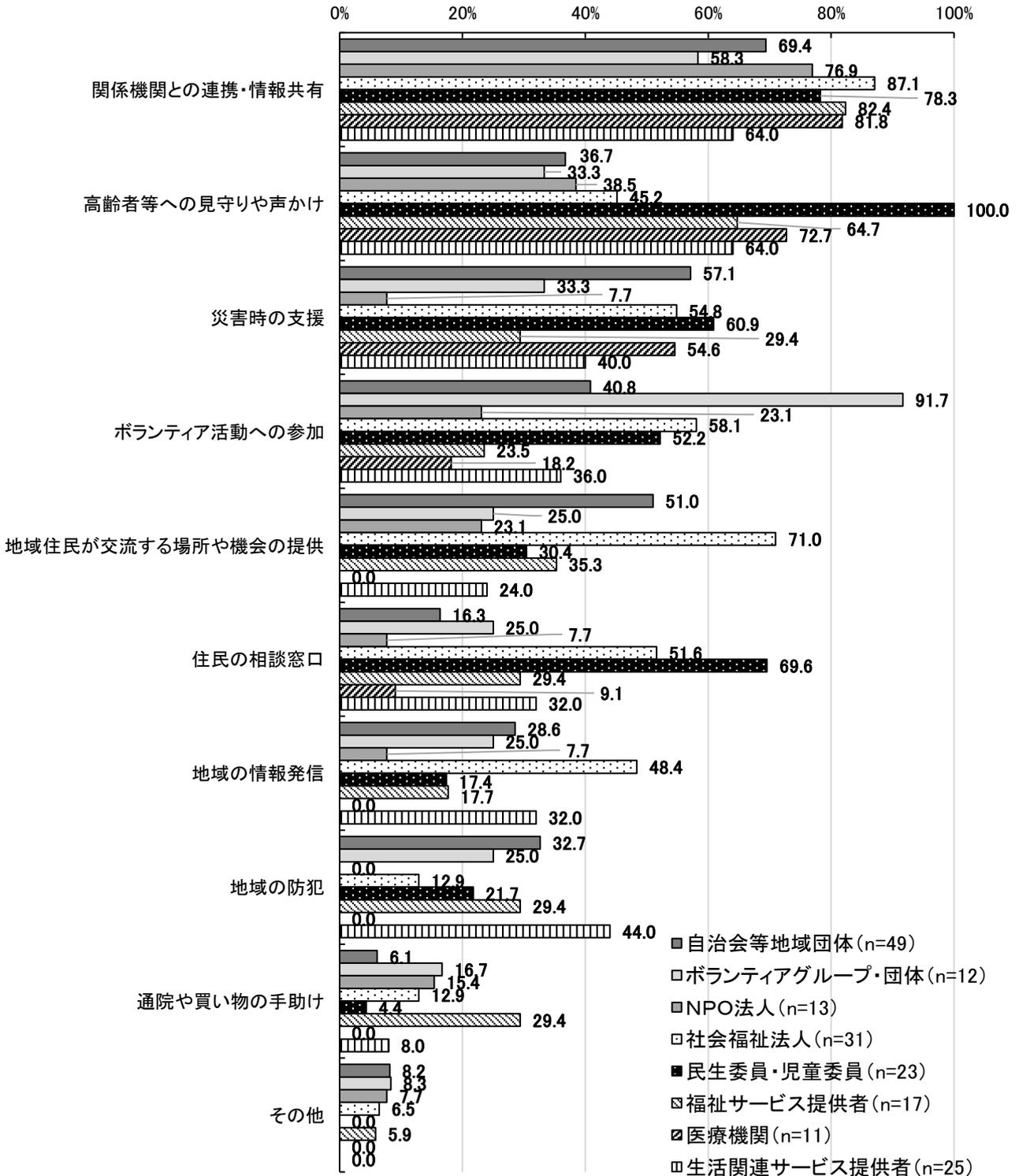
「社会福祉法人」…「関係機関との連携・情報共有」、「地域住民が交流する場所や機会の提供」、「地域の情報発信」

「民生委員・児童委員」…「高齢者等への見守りや声かけ」、「災害時の支援」、「住民の相談窓口」

「福祉サービス提供者」…「通院や買い物の手助け」

「生活関連サービス提供者」…「地域の防犯」

特に「高齢者等への見守りや声かけ」、「ボランティア活動への参加」、「地域住民が交流する場所や機会の提供」は二番目に高い団体区分よりも20ポイント以上高くなっています。



問8 他の団体や公共団体などとの交流や協力についておたずねします。

① 他の団体や公共団体との相互の交流、協力関係の実情を教えてください。また、今後交流や協力したいと思う他の団体や公共団体はありますか。

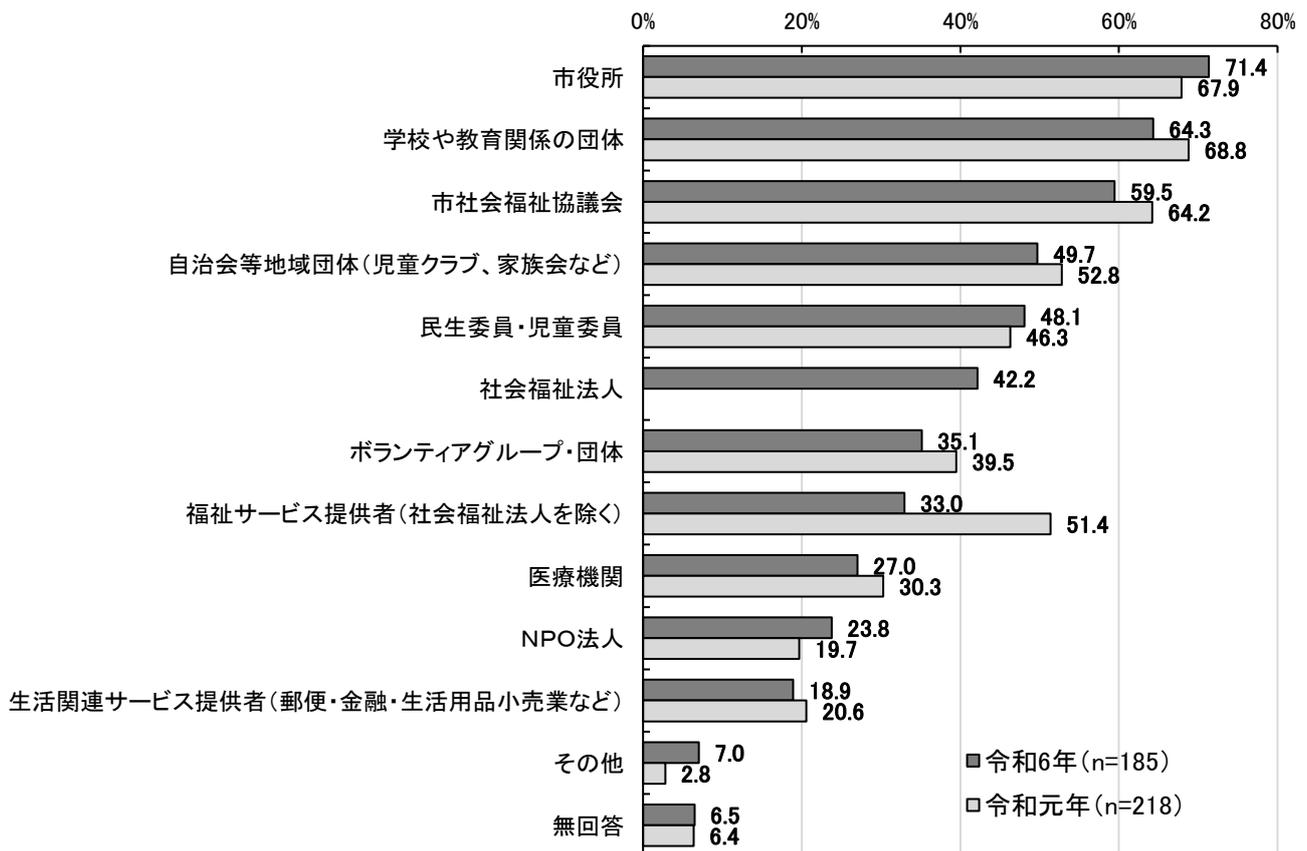
〈複数回答〉(件)

	団体などの種類	現在交流、協力している	今後交流、協力したい
1	自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）	92	41
2	ボランティアグループ・団体	65	48
3	NPO法人	44	41
4	社会福祉法人	78	23
5	民生委員・児童委員	89	35
6	福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）	61	36
7	医療機関	50	48
8	生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）	35	44
9	市社会福祉協議会	110	16
10	学校や教育関係の団体	119	23
11	市役所	132	16
12	その他	13	4
	無回答	12	74

【現在】

他の団体や公共団体などとの交流や協力の現在の状況についてみると、「市役所」の割合が71.4%と最も高く、次いで、「学校や教育関係の団体」（64.3%）、「市社会福祉協議会」（59.5%）となっています。

前回調査と比較すると、今回調査で新設された「社会福祉法人」（42.2%）は「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」の前回調査からの減少（18.4ポイント）よりも20ポイント以上高いです。

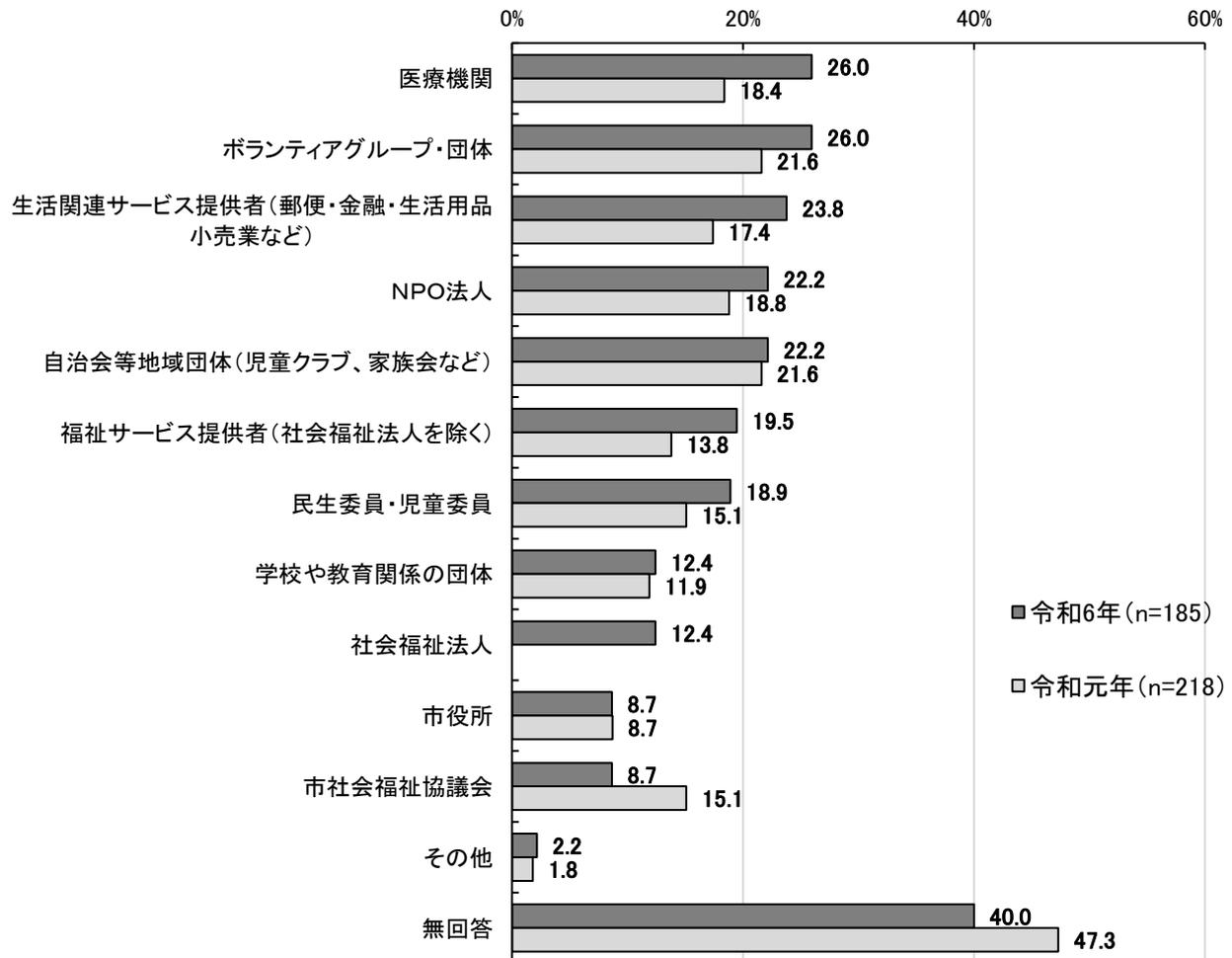


※「社会福祉法人」は令和6年度より新設。「社会福祉法人」は令和元年度調査では「福祉サービス提供者」に含まれる

【今後】

今後交流や協力したいと思う他の団体や公共団体を見ると、「医療機関」と「ボランティアグループ・団体」の割合がそれぞれ26.0%と最も高く、次いで「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」（23.8%）、「NPO法人」と「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」（22.2%）となっています。

前回調査と比較すると、「医療機関」が7.6ポイント高く、「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」が6.4ポイント高くなっています。また、今回調査で新設された「社会福祉法人」（12.4%）は「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」の前回調査からの減少（6.4ポイント）よりも6.0ポイント高いです。



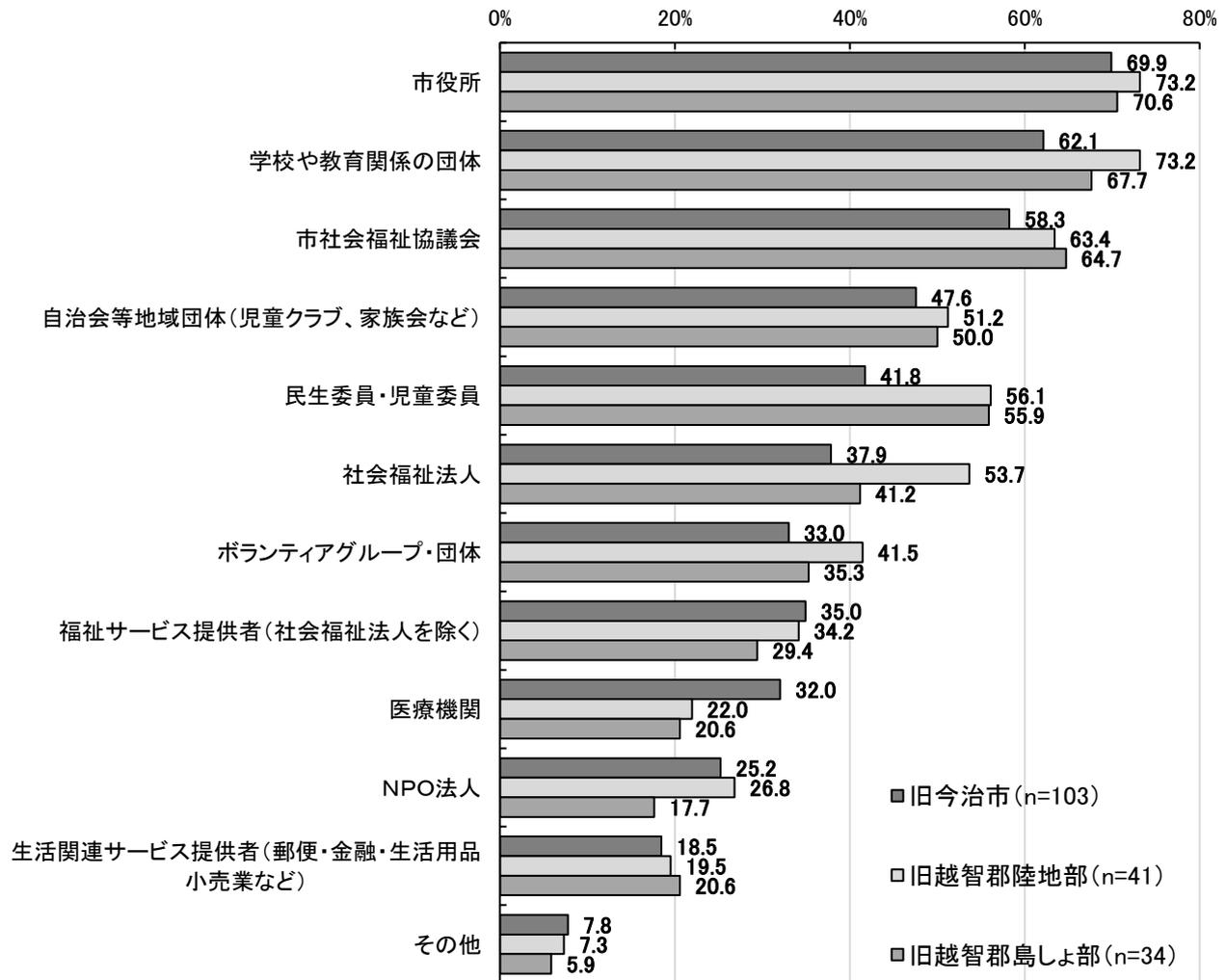
※「社会福祉法人」は令和6年度より新設。「社会福祉法人」は令和元年度調査では「福祉サービス提供者」に含まれる

【地区-現在】

現在の状況について地区別にみると、旧今治市では「市役所」の割合が69.9%と最も高く、次いで「学校や教育関係の団体」(62.1%)、「市社会福祉協議会」(58.3%)となっています。

旧越智郡陸地部では「市役所」と「学校や教育関係の団体」がそれぞれ73.2%と最も高く、次いで「市社会福祉協議会」(63.4%)、「民生委員・児童委員」(56.1%)となっています。

旧越智郡島しょ部では、「市役所」が70.6%と最も高く、次いで「学校や教育関係の団体」(67.7%)、「市社会福祉協議会」(64.7%)となっています。

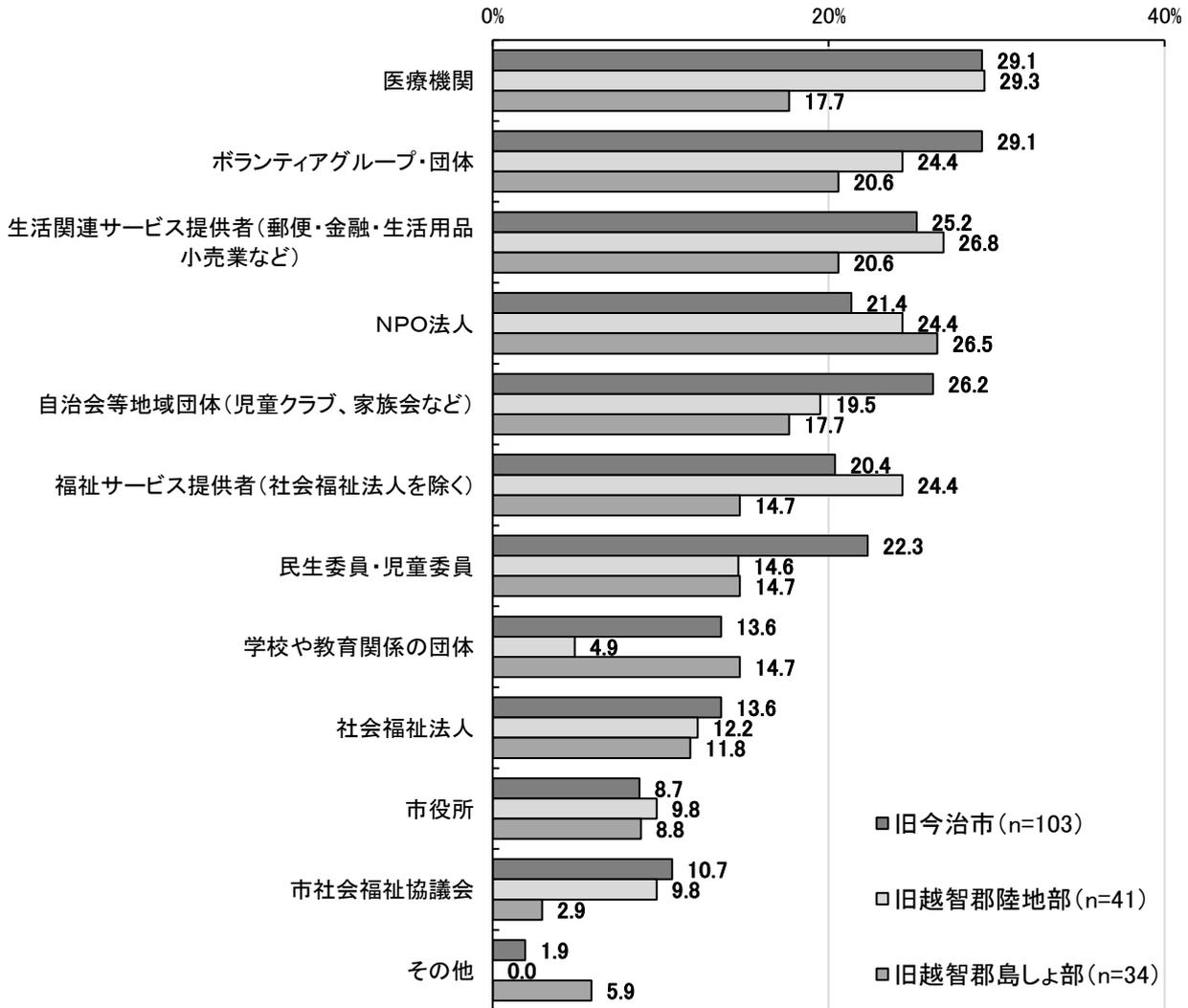


【地区-今後】

今後について地区別にみると、旧今治市では「医療機関」と「ボランティアグループ・団体」の割合がそれぞれ29.1%と最も高く、次いで「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」（26.2%）、「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」（25.2%）となっています。

旧越智郡陸地部では「医療機関」が29.3%と最も高く、次いで「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」（26.8%）、「ボランティアグループ・団体」と「NPO法人」と「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」（それぞれ24.4%）となっています。

旧越智郡島しょ部では「NPO法人」が26.5%と最も高く、次いで「ボランティアグループ・団体」と「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」（それぞれ20.6%）となっています。



【団体区分-現在】

現在の状況について団体区分別にみると、交流や協力の現在の状況について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

「自治会等地域団体」…「市役所」

「ボランティアグループ・団体」…「ボランティアグループ・団体」

「NPO 法人」…「NPO 法人」

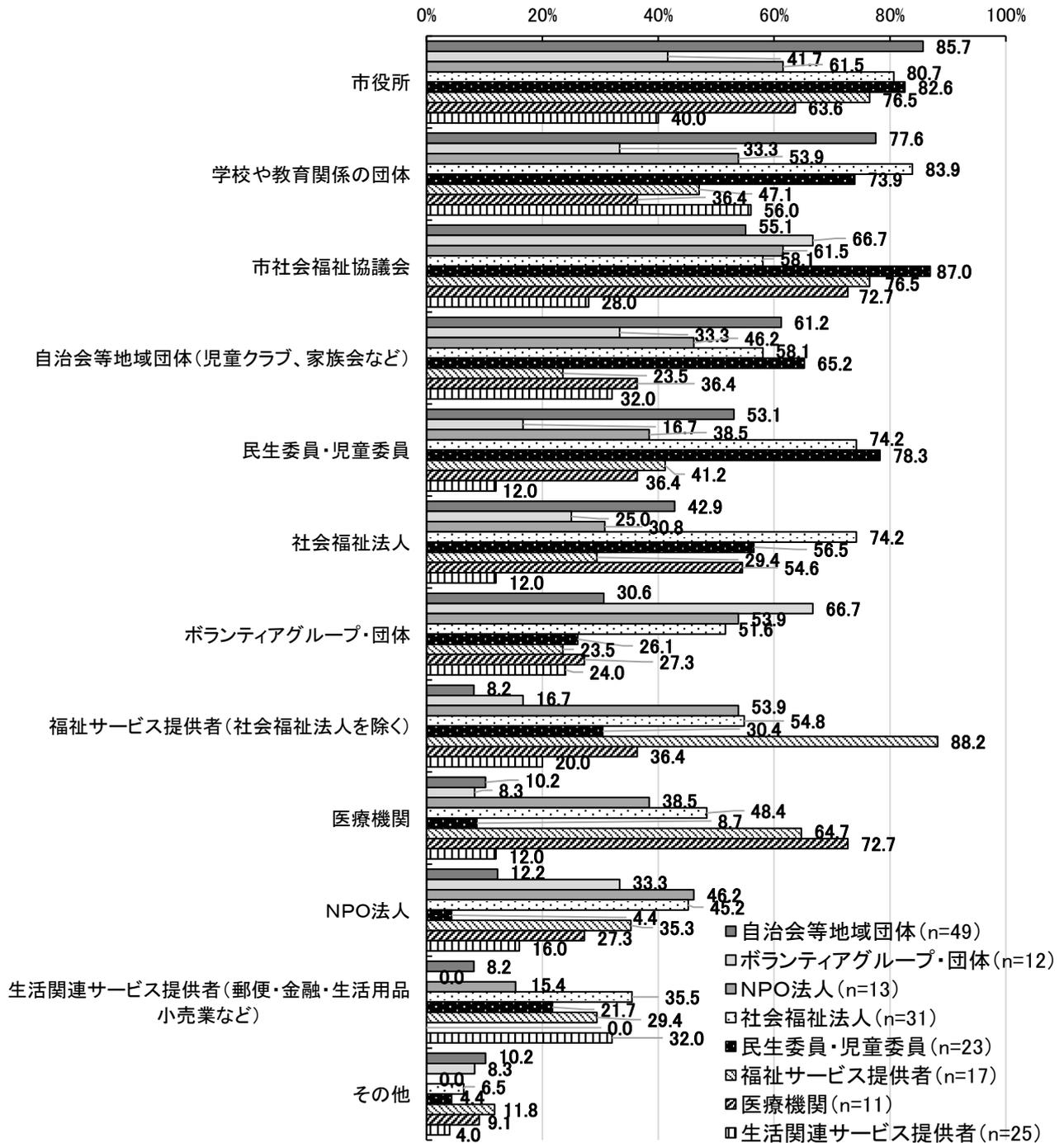
「社会福祉法人」…「学校や教育関係の団体」、「社会福祉法人」、「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」

「民生委員・児童委員」…「市社会福祉協議会」、「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」、「民生委員・児童委員」

「福祉サービス提供者」…「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」、「その他」

「医療機関」…「医療機関」

特に「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」は二番目に高い団体区分よりも 30 ポイント以上高くなっています。



【団体区分-今後】

今後について団体区分別にみると、今後交流や協力したい団体について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

「ボランティアグループ・団体」…「生活関連サービス提供者（郵便・金融・生活用品小売業など）」、「自治会等地域団体（児童クラブ、家族会など）」、「福祉サービス提供者（社会福祉法人を除く）」、「社会福祉法人」、「市役所」、「その他」

「社会福祉法人」…「NPO法人」

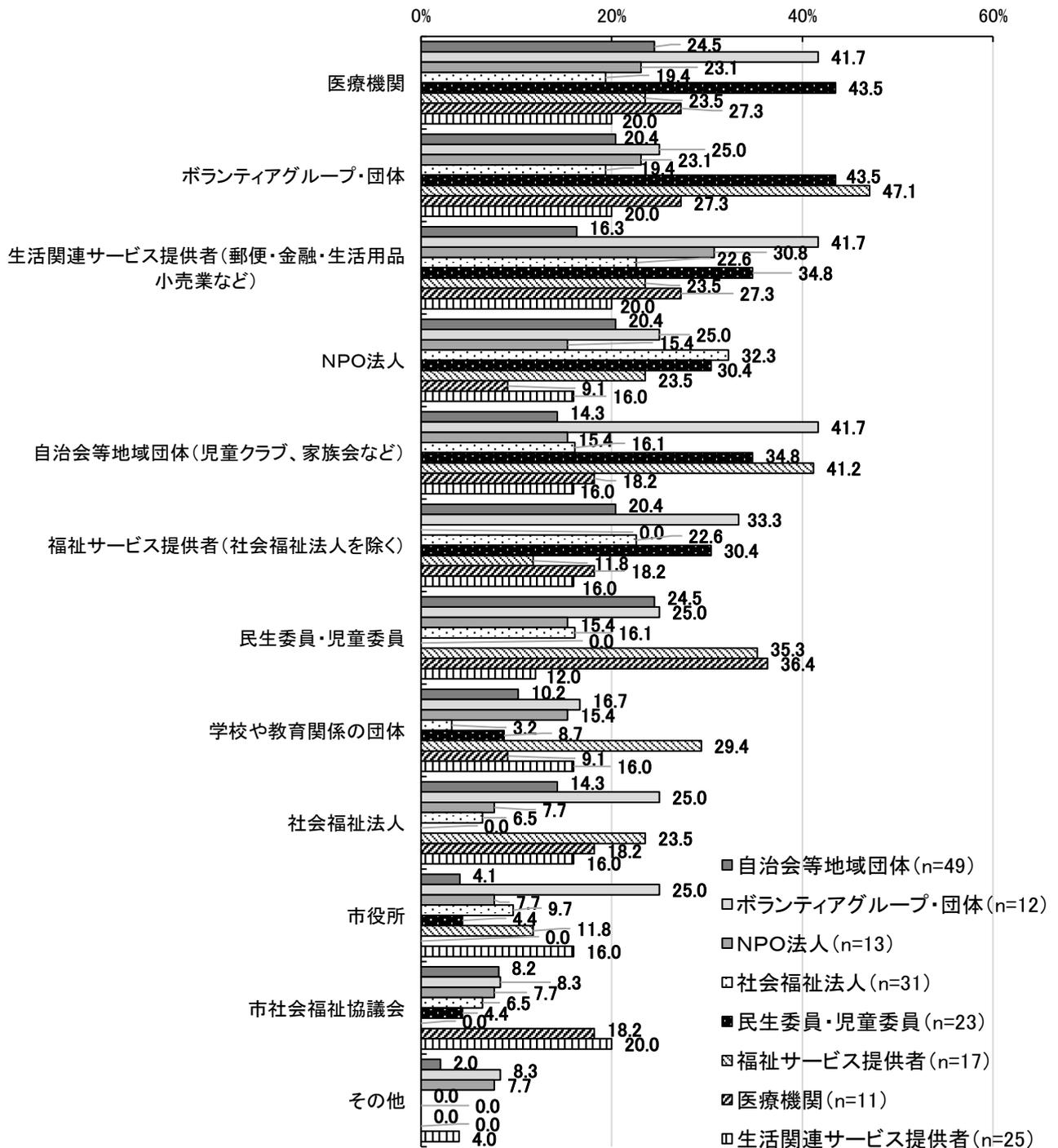
「民生委員・児童委員」…「医療機関」

「福祉サービス提供者」…「ボランティアグループ・団体」、「学校や教育関係の団体」

「医療機関」…「民生委員・児童委員」

「生活関連サービス提供者」…「市社会福祉協議会」

「民生委員・児童委員」と「医療機関」、「ボランティアグループ・団体」と「福祉サービス提供者」は互いに交流・協力したい割合が最も高くなっています。



② 他の団体や公共団体と相互の交流や協力している内容を教えてください。また、今後交流や協力をしたいと思う内容がありますか。

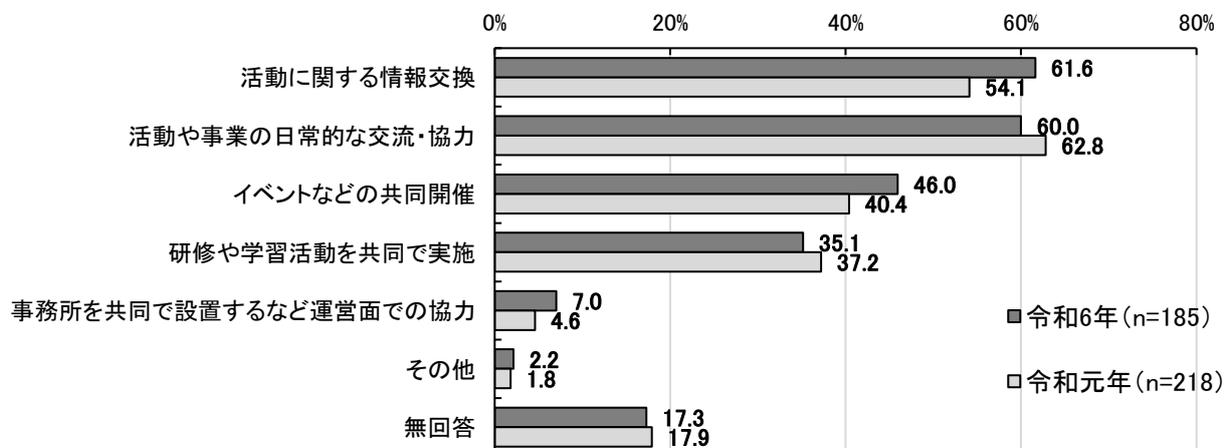
〈複数回答〉(件)

	交流や協力などの内容	現在交流、協力している	今後交流、協力したい
1	活動や事業の日常的な交流・協力	111	26
2	イベントなどの共同開催	85	35
3	活動に関する情報交換	114	28
4	研修や学習活動を共同で実施	65	41
5	事務所を共同で設置するなど運営面での協力	13	41
6	その他	4	3
	無回答	32	89

【現在】

他の団体や公共団体などとの交流や協力している現在の内容についてみると、「活動に関する情報交換」の割合が61.6%と最も高く、次いで、「活動や事業の日常的な交流・協力」(60.0%)、「イベントなどの共同開催」(46.0%)、「研修や学習活動を共同で実施」(35.1%)となっています。

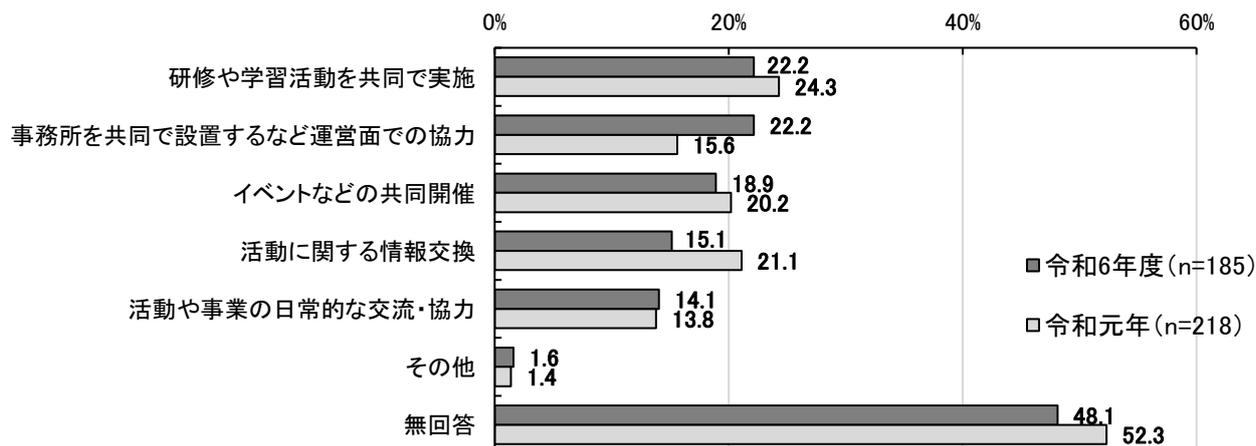
前回調査と比較すると、「活動に関する情報交換」が7.5ポイント高く、「イベントなどの共同開催」が5.6ポイント高くなっています。



【今後】

今後交流や協力したいと思う内容をみると、「研修や学習活動を共同で実施」と「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」の割合がそれぞれ22.2%と最も高く、次いで、「イベントなどの共同開催」(18.9%)、「活動に関する情報交換」(15.1%)となっています。

前回調査と比較すると、「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」が6.6ポイント高く、「活動に関する情報交換」が6.0ポイント低くなっています。

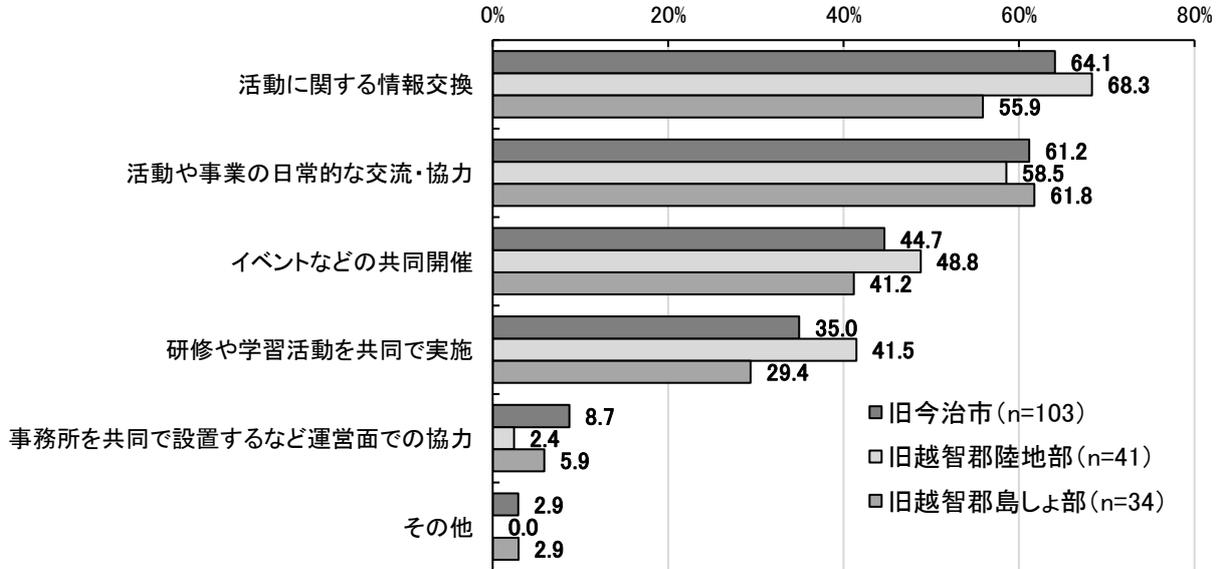


【地区-現在】

現在の状況について地区別でみると、旧今治市では「活動に関する情報交換」が64.1%と最も割合が高く、次いで「活動や事業の日常的な交流・協力」(61.2%)となっています。

旧越智郡陸地部では「活動に関する情報交換」が68.3%で最も高く、次いで「活動や事業の日常的な交流・協力」(58.5%)となっています。

旧越智郡島しょ部では「活動や事業の日常的な交流・協力」が61.8%と最も高く、次いで「活動に関する情報交換」(55.9%)となっています。

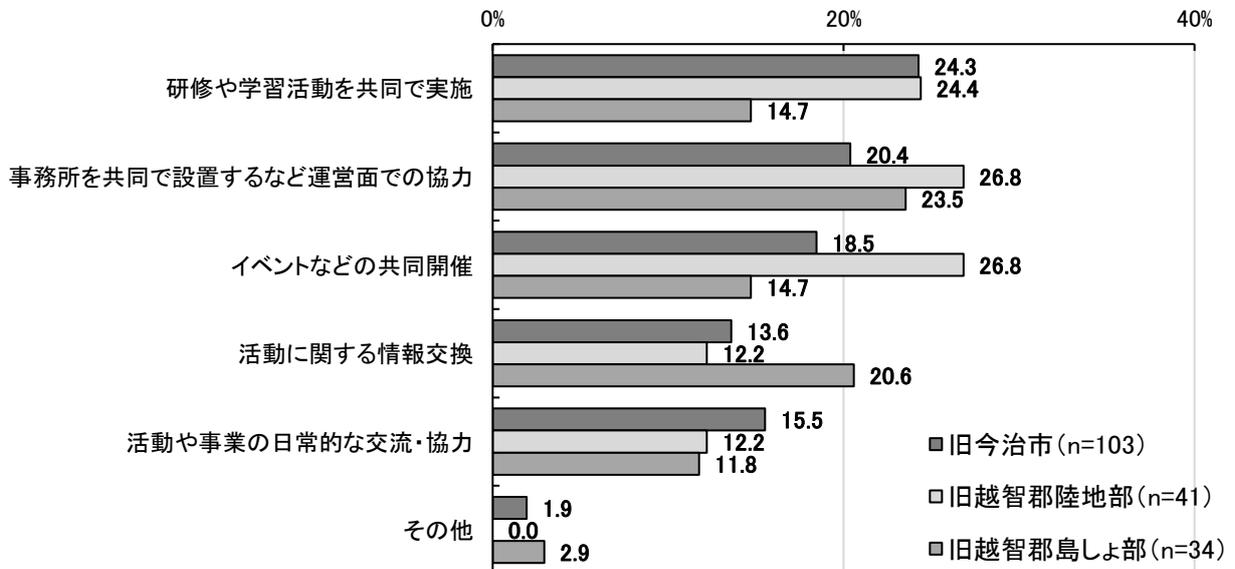


【地区-今後】

今後について地区別でみると、旧今治市では「研修や学習活動を共同で実施」の割合が24.3%と最も高く、次いで「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」(20.4%)となっています。

旧越智郡陸地部では「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」と「イベントなどの共同開催」が共に26.8%と最も高くなっています。

旧越智郡島しょ部では「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」が23.5%と最も高く、次いで「活動に関する情報交換」(20.6%)となっています。



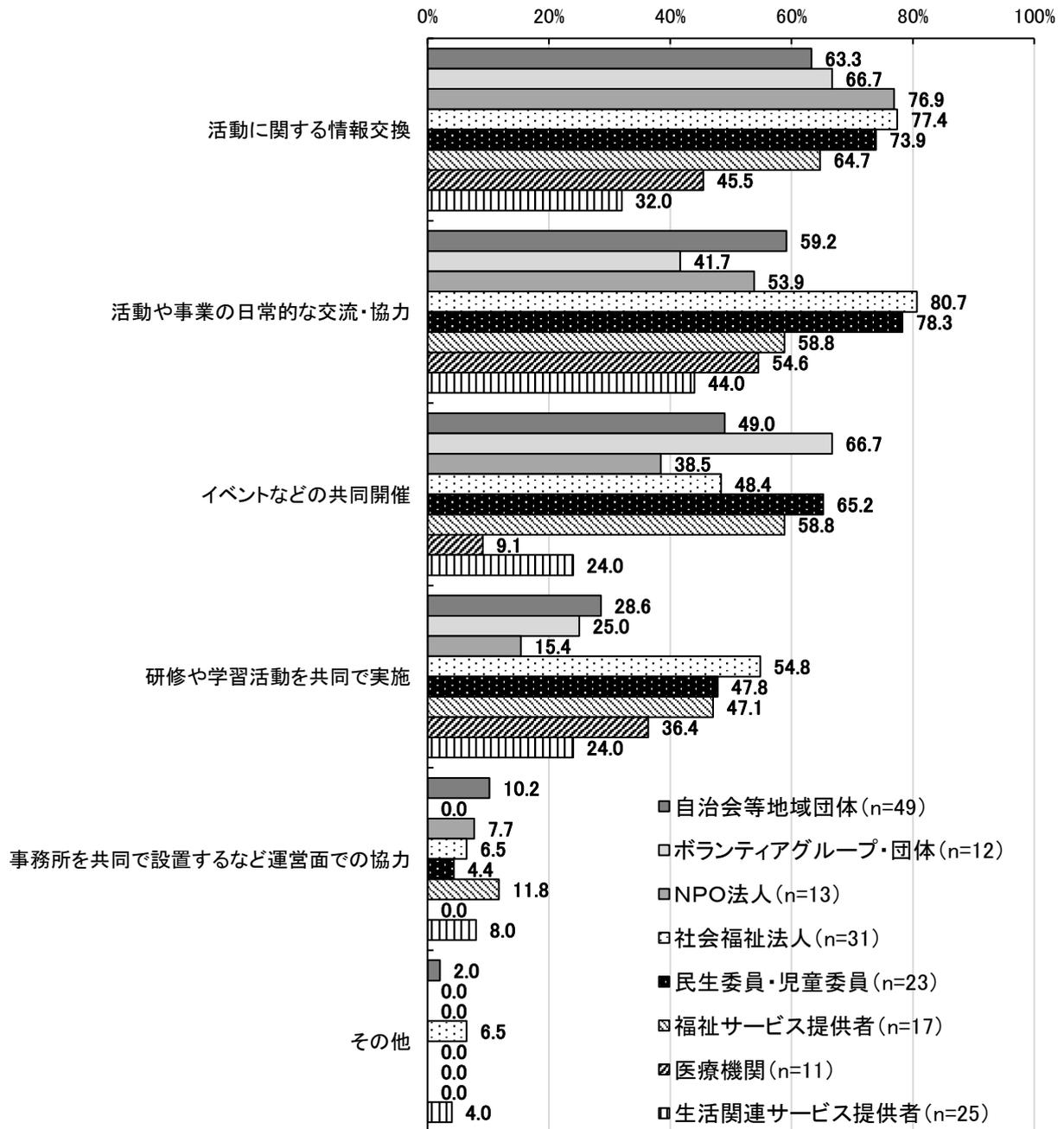
【団体区分-現在】

現在の状況について団体区分別にみると、交流や協力の現在の内容について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

「ボランティアグループ・団体」…「イベントなどの共同開催」

「社会福祉法人」…「活動に関する情報交換」、「活動や事業の日常的な交流・協力」、「研修や学習活動を共同で実施」、「その他」

「福祉サービス提供者」…「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」



【団体区分-今後】

今後について団体区分別にみると、今後交流や協力したい内容について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

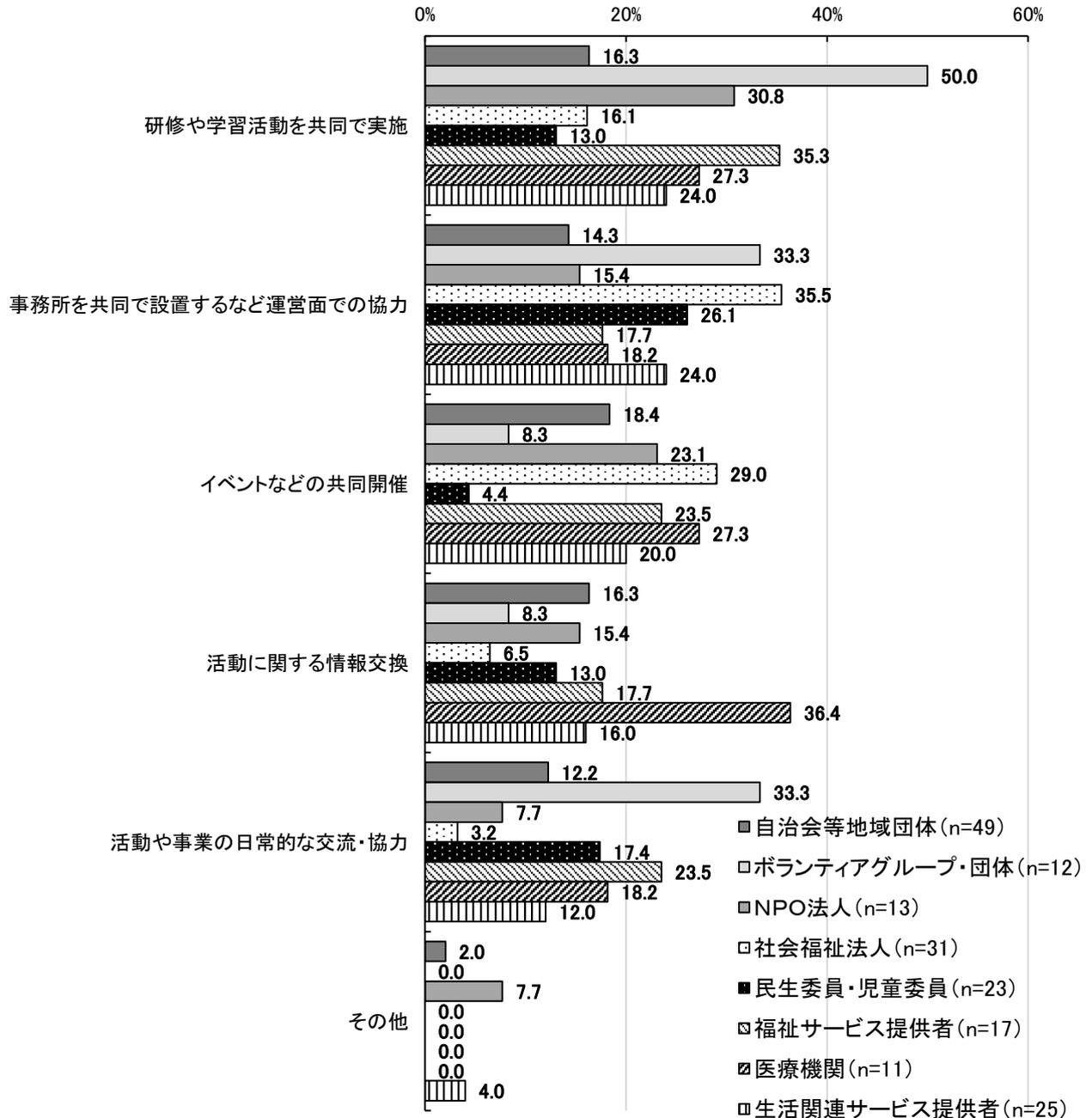
「ボランティアグループ・団体」…「研修や学習活動を共同で実施」、「活動や事業の日常的な交流・協力」

「NPO 法人」…「その他」

「社会福祉法人」…「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」、「イベントなどの共同開催」

「医療機関」…「活動に関する情報交換」

特に「研修や学習活動を共同で実施」、「活動に関する情報交換」は二番目に高い団体区分よりも約 20 ポイント高くなっています。

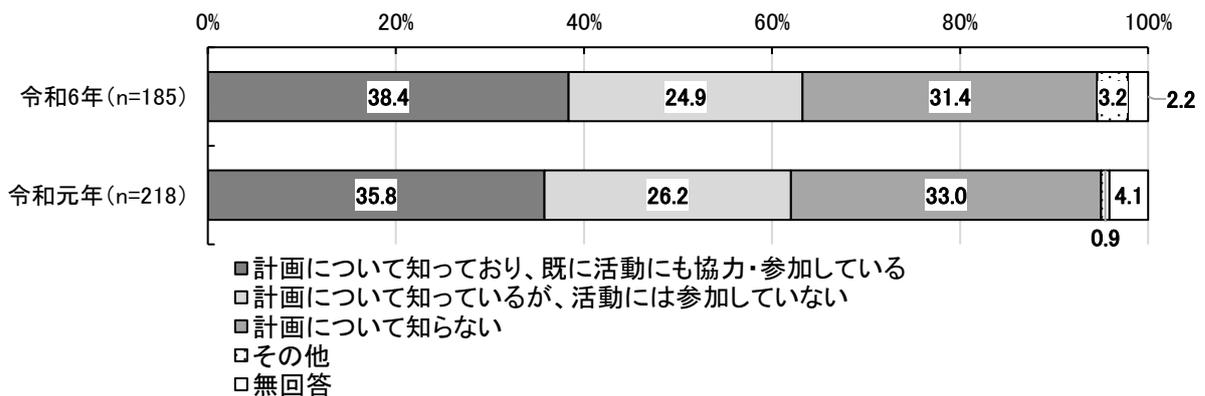


問9 今治市社会福祉協議会は、地域福祉の主たる推進役として今治市と連携、協働して地域福祉活動に取り組んでいます。昨年度、民間の活動・行動計画として「地域福祉活動計画」を策定していることを知っていますか。

		(件)
1	計画について知っており、既に活動にも協力・参加している	71
2	計画について知っているが、活動には参加していない	46
3	計画について知らない	58
4	その他	6
	無回答	4

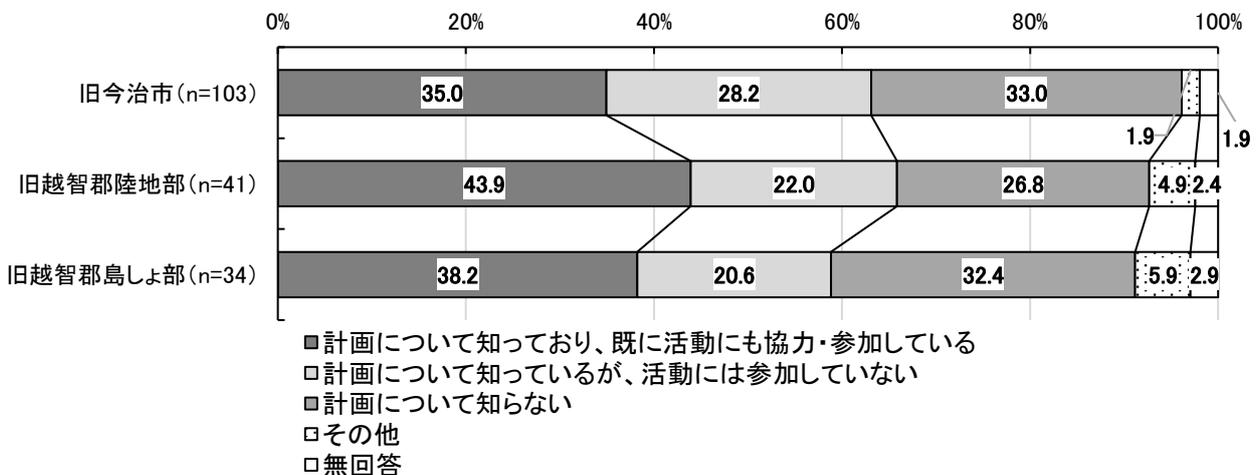
「地域福祉活動計画」について聞くと、“知っている”63.3%（「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」38.4%、「計画について知っているが、活動には参加していない」24.9%の合計（以下同じ））、「計画について知らない」31.4%、「その他」3.2%となっています。

前回調査と比較すると、“知っている”が1.3ポイント増加しています。前回調査から大きく増減している選択肢はなく、同じ傾向といえます。



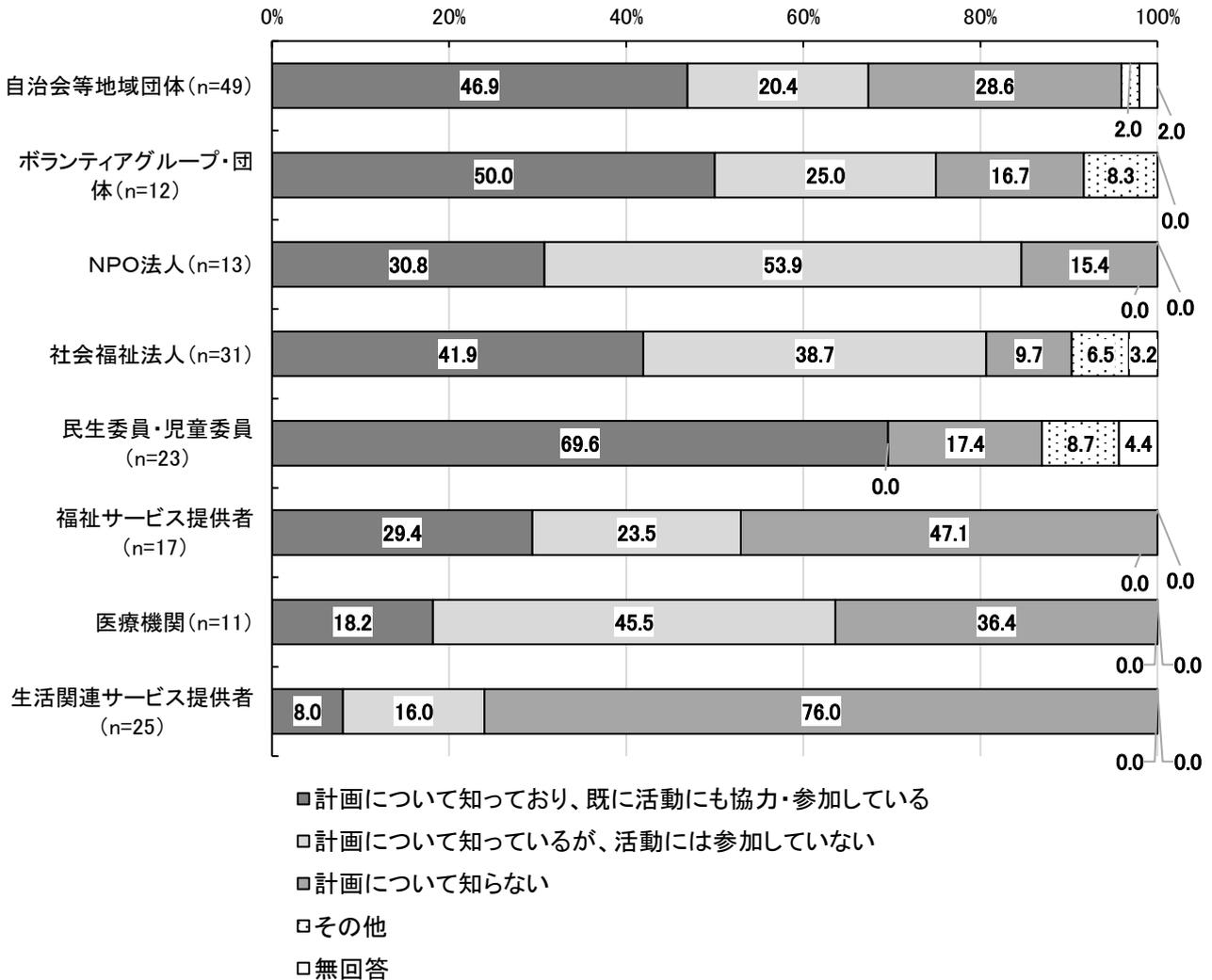
【地区】

地区別にみると、全ての地区で“知っている”の割合が50%以上となっています。“知っている”の割合は旧越智郡陸地部（65.9%）が最も高くなっており、「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」も、旧越智郡陸地部（43.9%）が最も高くなっています。



【団体区分】

団体区分別にみると、「生活関連サービス提供者」を除いて、全ての団体で“知っている”の割合が50%以上となっています。“知っている”の割合は「NPO法人」(84.7%)が最も高くなっており、「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」は、「民生委員・児童委員」(69.6%)が最も高くなっています。一方「生活関連サービス提供者」は「計画について知らない」が76.0%と最も高くなっており、二番目に高い「福祉サービス提供者」(47.1%)よりも28.9ポイント高くなっています。

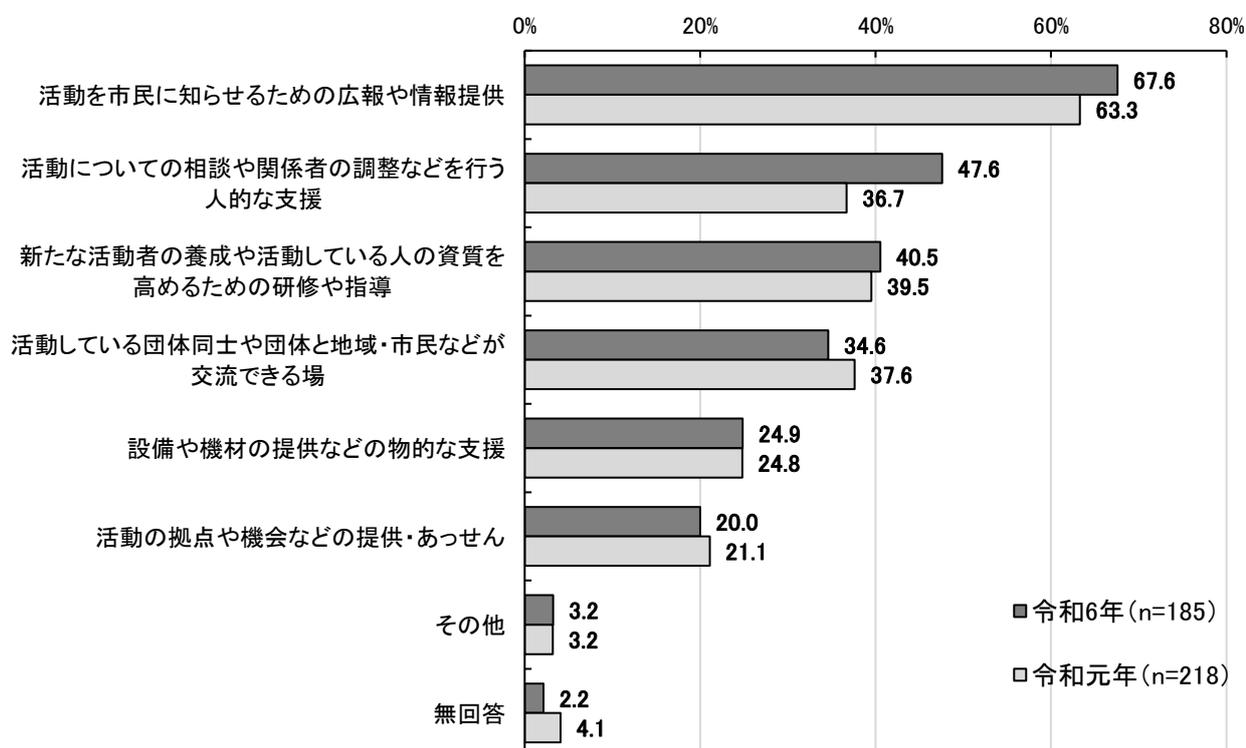


問 10 今後、今治市が地域福祉推進のために取り組む施策として、次のどれを優先し、充実させる必要があると思いますか。

〈複数回答・3つまで〉(件)		
1	活動を市民に知らせるための広報や情報提供	125
2	設備や機材の提供などの物的な支援	46
3	活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援	88
4	新たな活動者の養成や活動している人の資質を高めるための研修や指導	75
5	活動の拠点や機会などの提供・あっせん	37
6	活動している団体同士や団体と地域・市民などが交流できる場	64
7	その他	6
	無回答	4

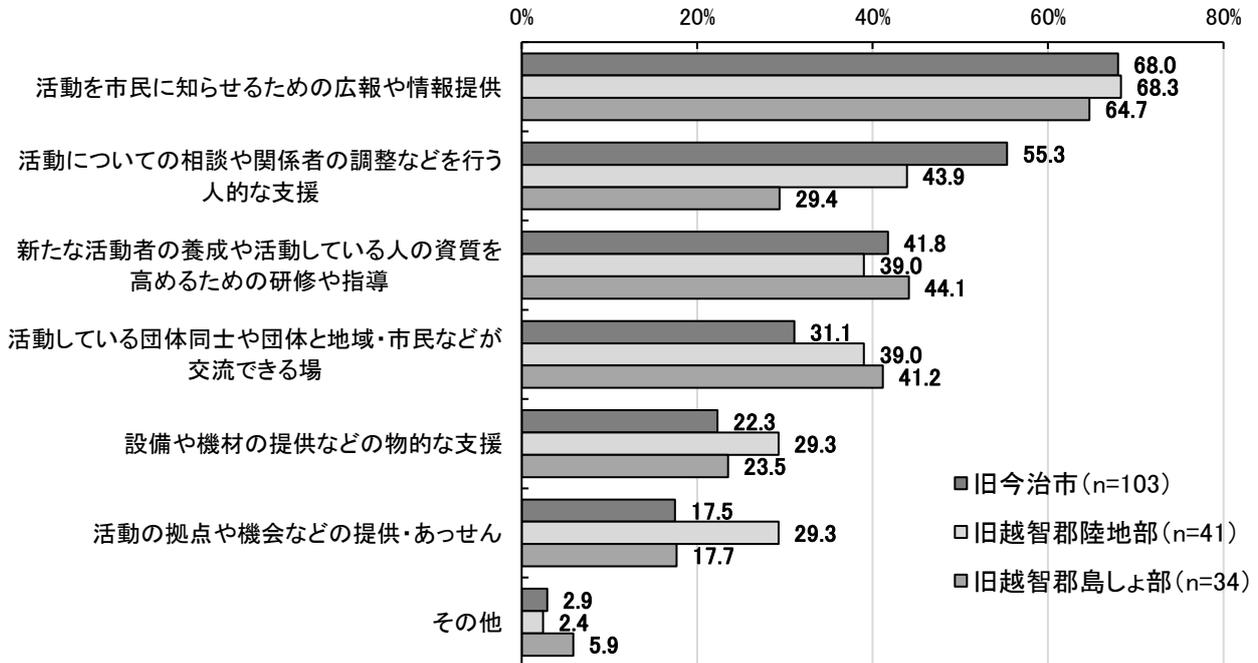
優先・充実させるべき施策について聞くと、「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」の割合が67.6%と最も高く、次いで、「活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援」(47.6%)、「新たな活動者の養成や活動している人の資質を高めるための研修や指導」(40.5%)、「活動している団体同士や団体と地域・市民などが交流できる場」(34.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援」が10.9ポイント増加しています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」の割合が最も高く（旧今治市 68.0%、旧越智郡陸地部 68.3%、旧越智郡島しょ部 64.7%）、次いで、旧今治市と旧越智郡陸地部では「活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援」の割合が高く（旧今治市 55.3%、旧越智郡陸地部 43.9%）、旧越智郡島しょ部では「新たな活動者の養成や活動している人の資質を高めるための研修や指導」が44.1%と高くなっています。

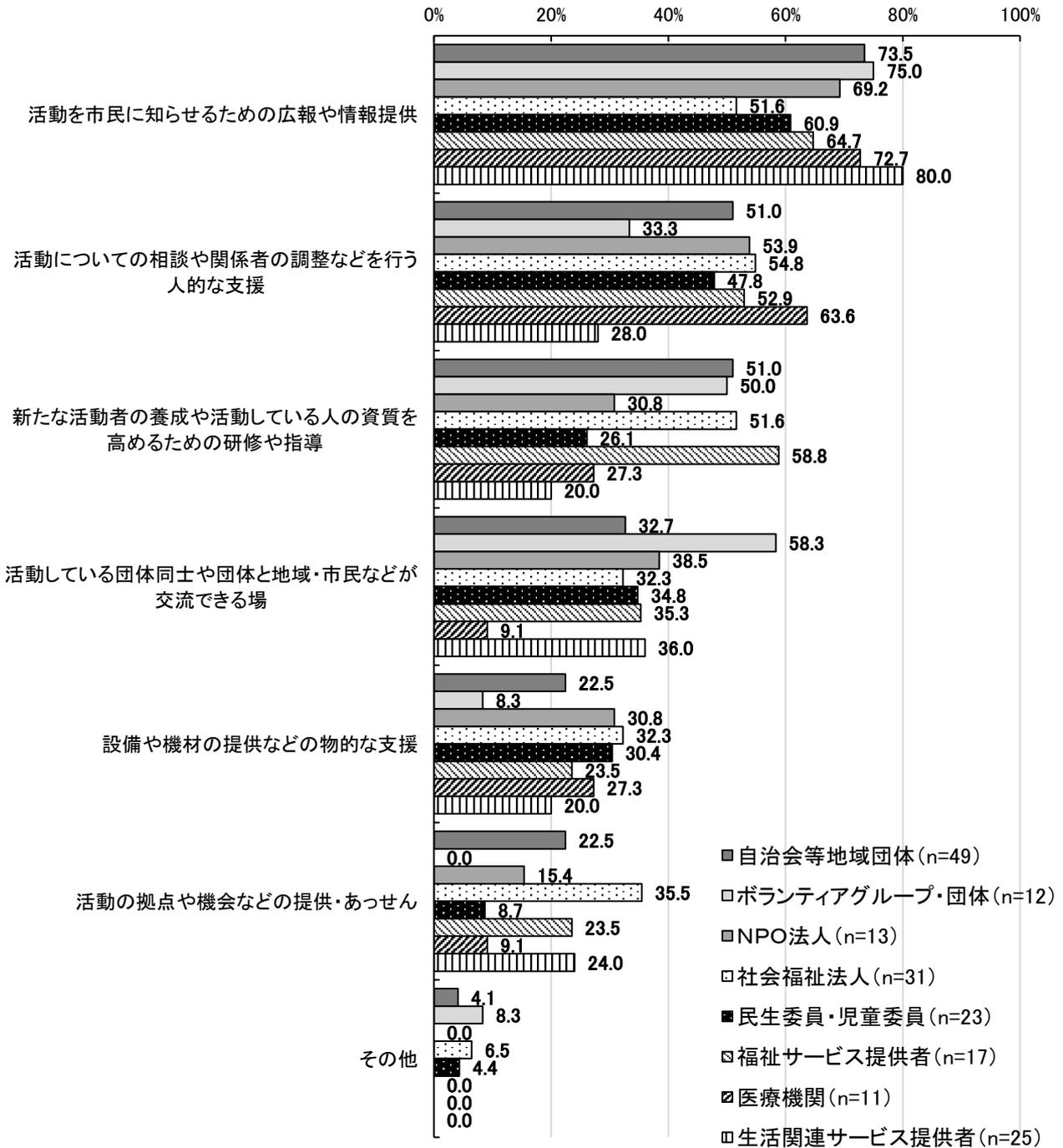


【団体区分】

団体区分別にみると、優先・充実させるべき施策について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

「ボランティアグループ・団体」…「活動している団体同士や団体と地域・市民などが交流できる場」、「その他」
 「社会福祉法人」…「設備や機材の提供などの物的な支援」、「活動の拠点や機会などの提供・あっせん」
 「福祉サービス提供者」…「新たな活動者の養成や活動している人の資質を高めるための研修や指導」
 「医療機関」…「活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援」
 「生活関連サービス提供者」…「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」

特に「活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援」は二番目に高い「NPO 法人」(38.5%)よりも19.8ポイント高くなっています。

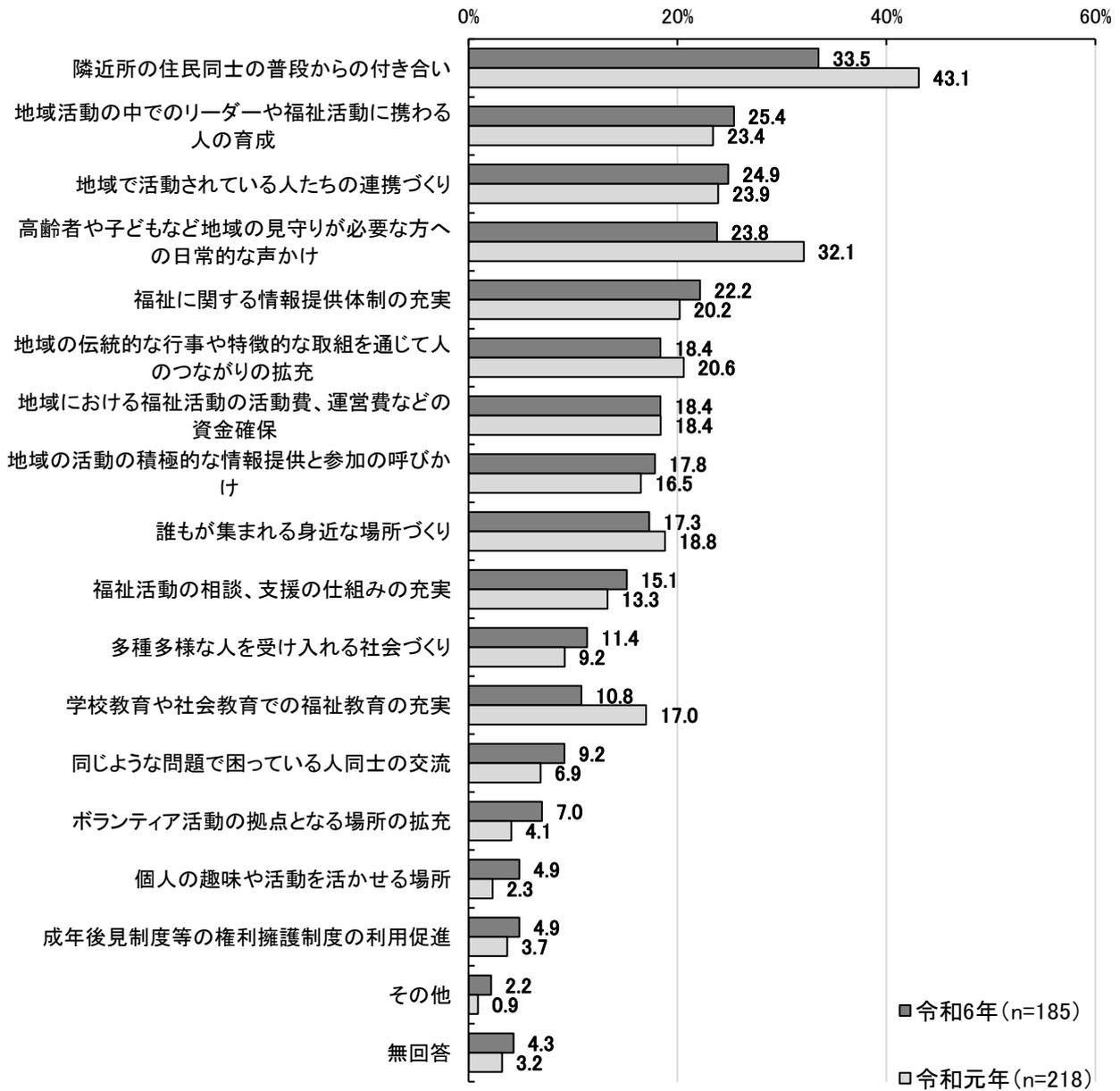


問 11 今後、地域での福祉活動（ボランティア活動や助け合い活動）をさらに活性化させるために、どのような取組が必要であるとお考えですか。

		〈複数回答・3つまで〉(件)
1	隣近所の住民同士の普段からの付き合い	62
2	高齢者や子どもなど地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ	44
3	地域の伝統的な行事や特徴的な取組を通じて人のつながりの拡充	34
4	福祉に関する情報提供体制の充実	41
5	地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成	47
6	地域で活動されている人たちの連携づくり	46
7	同じような問題で困っている人同士の交流	17
8	地域の活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ	33
9	福祉活動の相談、支援の仕組みの充実	28
10	誰もが集まれる身近な場所づくり	32
11	ボランティア活動の拠点となる場所の拡充	13
12	地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金確保	34
13	学校教育や社会教育での福祉教育の充実	20
14	個人の趣味や活動を活かせる場所	9
15	成年後見制度等の権利擁護制度の利用促進	9
16	多種多様な人を受け入れる社会づくり	21
17	その他	4
	無回答	8

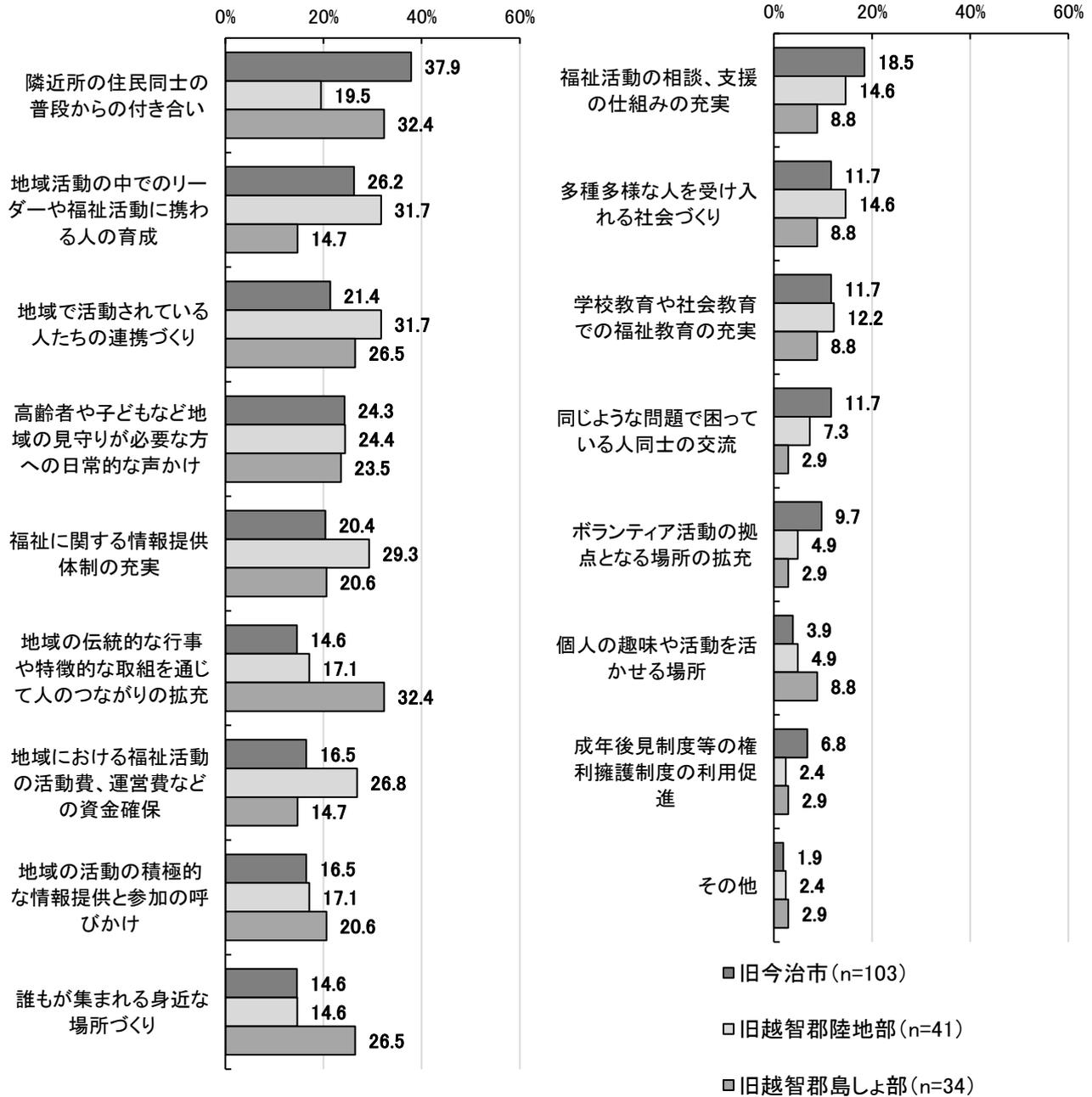
地域での福祉活動の活性化のために必要な取組についてみると、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」の割合が 33.5%と最も割合が高く、次いで、「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」(25.4%)、「地域で活動されている人たちの連携づくり」(24.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が9.6ポイント低く、「高齢者や子どもなど地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」が8.3ポイント低く、「学校教育や社会教育での福祉教育の充実」が6.2ポイント低くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市では「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」の割合が37.9%と最も高く、次いで「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」(26.2%)、「高齢者や子供など地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」(24.3%)となっています。旧越智郡陸地部では「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」と「地域で活動されている人たちの連携づくり」がそれぞれ31.7%と最も高く、次いで「福祉に関する情報提供体制の充実」が29.3%となっています。旧越智郡島しょ部では「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」、「地域の伝統的な行事や特徴的な取組を通じて人のつながりの拡充」の割合が同じ32.4%で、最も高くなっています。



【団体区分】

団体区分別にみると、必要な取組について最も割合が高い団体区分は次の通りです。

「自治会等地域団体」…「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」

「ボランティアグループ・団体」…「地域の活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ」、「ボランティア活動の拠点となる場所の拡充」

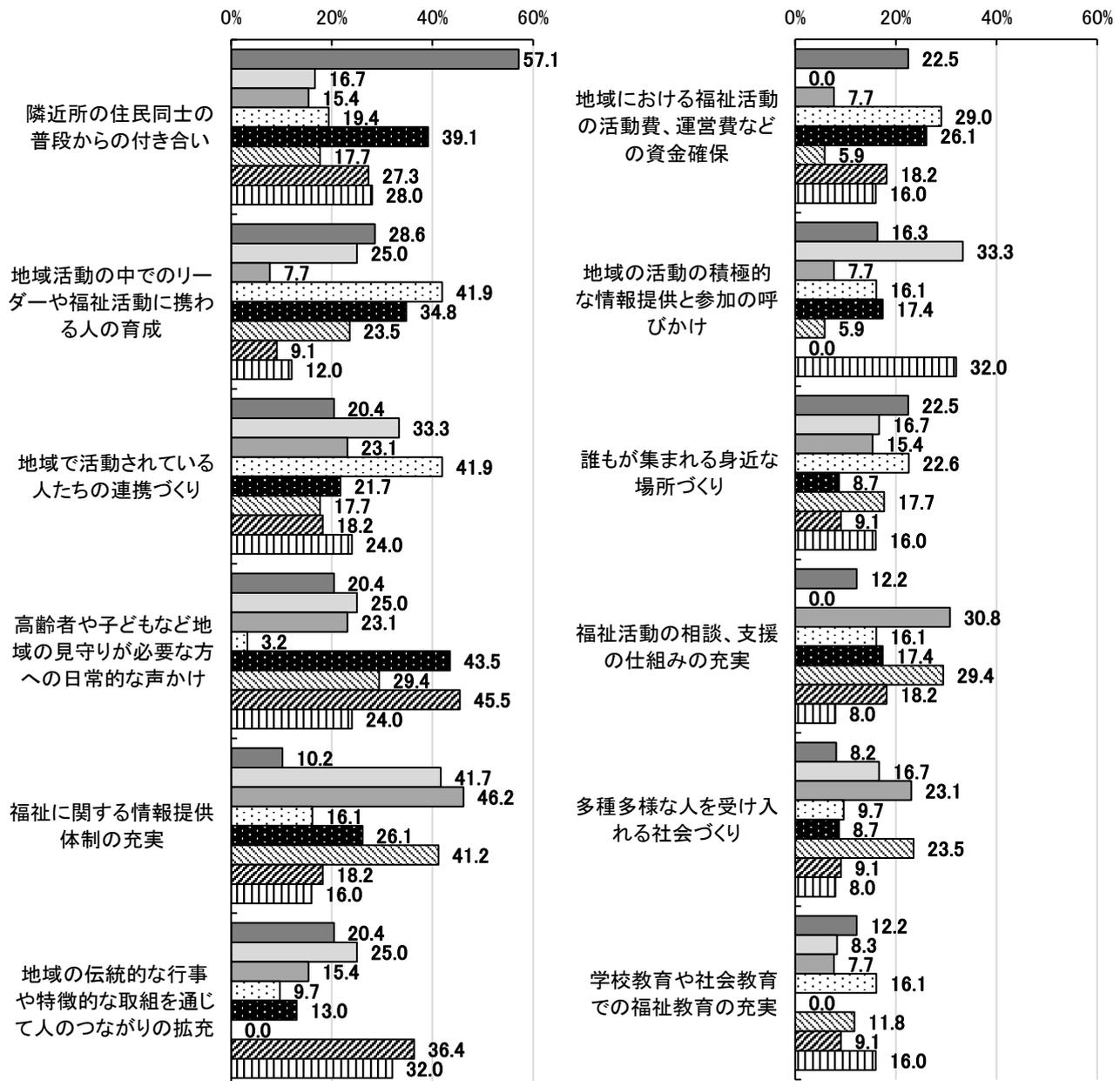
「NPO 法人」…「福祉に関する情報提供体制の充実」、「福祉活動の相談、支援の仕組みの充実」

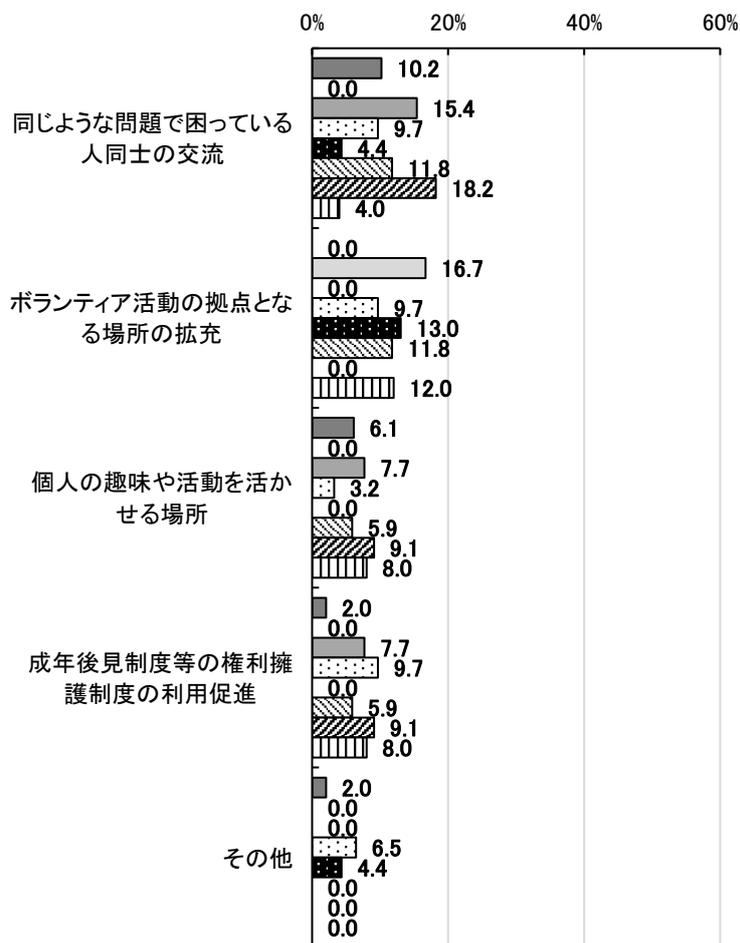
「社会福祉法人」…「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」、「地域で活動されている人たちの連携づくり」、「地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金確保」、「誰もが集まれる身近な場所づくり」、「学校教育や社会教育での福祉教育の充実」、「成年後見制度等の権利擁護制度の利用促進」、「その他」

「福祉サービス提供者」…「多種多様な人を受け入れる社会づくり」

「医療機関」…「高齢者や子どもなど地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」、「地域の伝統的な行事や特徴的な取組を通じて人のつながりの拡充」、「同じような問題で困っている人同士の交流」、「個人の趣味や活動を活かせる場所」

特に「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」は二番目に高い「民生委員・児童委員（39.1%）よりも18.0ポイント高くなっています。





- 自治会等地域団体 (n=49)
- ボランティアグループ・団体 (n=12)
- NPO法人 (n=13)
- 社会福祉法人 (n=31)
- 民生委員・児童委員 (n=23)
- 福祉サービス提供者 (n=17)
- ▣ 医療機関 (n=11)
- ▣ 生活関連サービス提供者 (n=25)

問12 地域福祉活動を進めるためのご意見、ご要望がございましたらご記入ください。

(主な意見)

○子育てに関すること

- ・若い人が安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ・親亡き後相談室の設置
- ・地域の晩婚化・未婚化を止める施策が必要

○教育に関すること

- ・学校教育に精神疾患の教育の提供
- ・小学生からの福祉体験・活動を深めるための学校や教員への働きかけが必要

○災害に関すること

- ・災害時における社会福祉活動について検討してほしい
- ・地域ごとに何が必要かテーマを与え、行動させるような仕掛けを作り、自主防災組織の自主性を喚起することが必要

○障がいに関すること

- ・障がい者も地域コミュニティに参加できる体制の確立、情報提供
- ・地域に必要とされれば、障がい者の方々も地域福祉に協力できると思う
- ・障がいのある子どもも家族で楽しめるイベント、活動を提供してほしい
- ・経済的自立のため、障がいがあっても何かできることに取り組んでいない人を受け入れるサークルを支援してほしい

○高齢者に関すること

- ・最近では高齢となる前から心身ともに病み、そこから高齢となって孤立や生活苦に陥るケースが目立つ
- ・高齢者食堂のような、高齢の独居者が簡単に、安価に集まれる仕掛けがほしい
- ・ボランティア参加者で運営する認知症カフェ
- ・見守り活動推進のための単位自治会長、民生児童委員の合同会議
- ・高齢者が増加していることで、民生委員の負担が増加している
- ・お世話する側の高齢化が進行している

○地域活動に関すること

- ・プライバシー保護の観点や新型コロナウイルス感染症などの影響から近隣住民の関わりが薄くなっている
- ・防災教育やSDGs教育を起点にしたボランティアの形、風通しの良い地域を形成したい
- ・「ふれあい、見守り、支え合い」を、楽しく面白がって地域全体で取り組める仕掛けを作る
- ・地域活動にもっと若い世代が参加すべき、場合によっては公共団体からの補助もあると思う
- ・ボランティアや助け合い活動の担い手不足が気になり
- ・地域を引っ張っていくリーダーづくりが必要
- ・地域福祉の担い手が参加する場づくりが必要

○団体の活動に関すること

- ・分野の壁を越えて交流情報交換できる場があると、互いに支え合い活気が出てくると思う
- ・行政や社協との協働機会が減少している。
- ・後継者を見つけることや活動の広報に、市も協力してほしい
- ・民生委員との交流
- ・日々困っている事や福祉活動について話し合う場を設けてほしい（市議会議員との懇親会）
- ・地域ケア会議などをより活用推進する事で、顔合わせ・繋がり機会を増やす
- ・活動について知ってほしい、周知に協力してほしい
- ・毎日の活動が忙しく、地域福祉における自分たちの立ち位置の把握や、協力への対応ができない、現状維持で手一杯

○行政に対する要望

- ・合併20周年を迎えるにあたり、今治市の多種多様な特色をふまえたプランを作成してほしい
- ・市役所の住民相談窓口のような、何でも困りごとを聞いてもらえ、必要な情報を教えてもらえる窓口が地域にもあればいいと思う。
- ・団体の枠を超えての活動となると、今治市など、上からの機会の提供がほしい
- ・団体への支援がほしい
- ・市民が真ん中課の地域版を作ってほしい
- ・地域・施設・行政の一体的な取り組みができる様コーディネーター的立場の人を活用をお願いしたい
- ・道路整備や交通手段の充実をお願いしたい
- ・市民への活動の周知が必要
- ・社協主催の地域福祉活動に係る団体の会議が継続性に欠けていると思う

○計画、アンケートについて

- ・新型コロナ禍後の考え方・あり方について触れられておらず、これで有用な基礎資料となるのか疑問
- ・計画について市民に周知する取組を行ってほしい